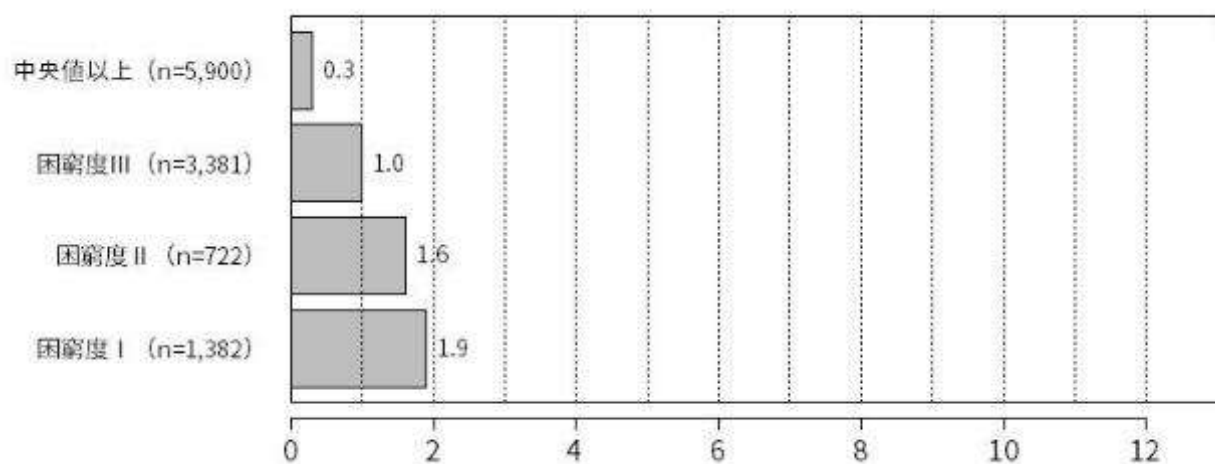


困窮度別に見た、子どもについて経済的な理由でできなかったこと（問 29）

<大阪市 24 区>



<大阪市東成区>

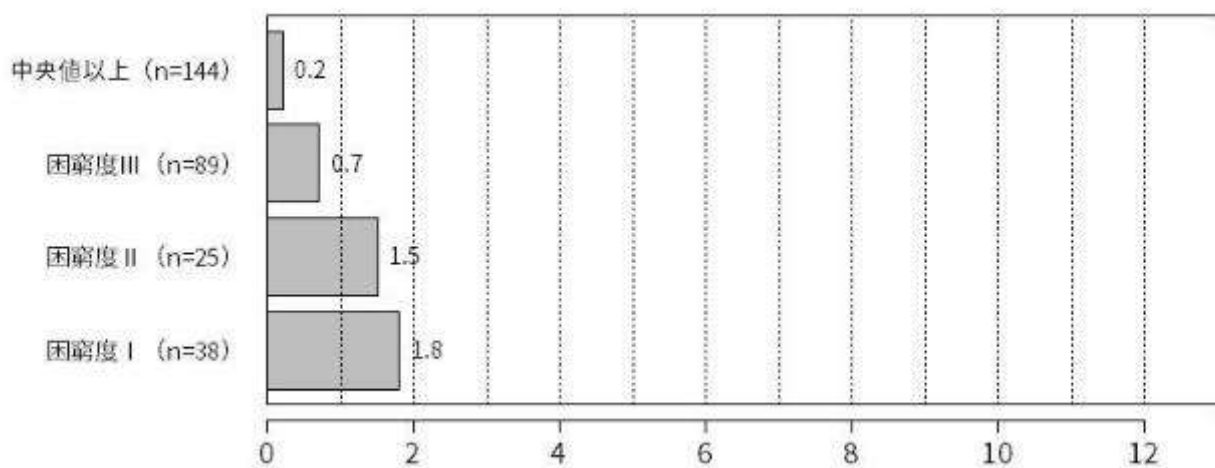
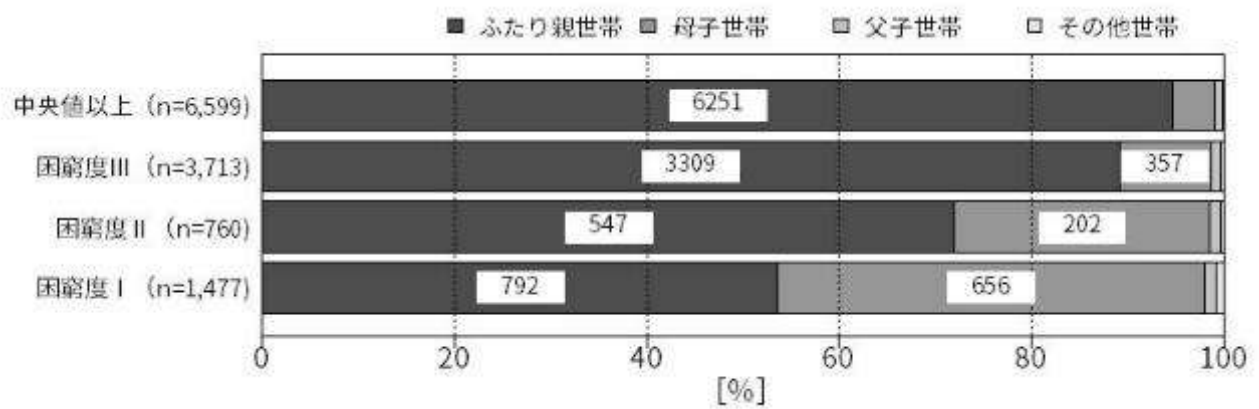


図 63. 困窮度別に見た、子どもについて経済的な理由でできなかったこと

困窮度が高まるにつれて、該当数が多くなる傾向にあり、困窮度Ⅰ群では 1.8 個であった。

困窮度別に見た、世帯員の構成（問 3-2）

<大阪市 24 区>



<大阪市東成区>

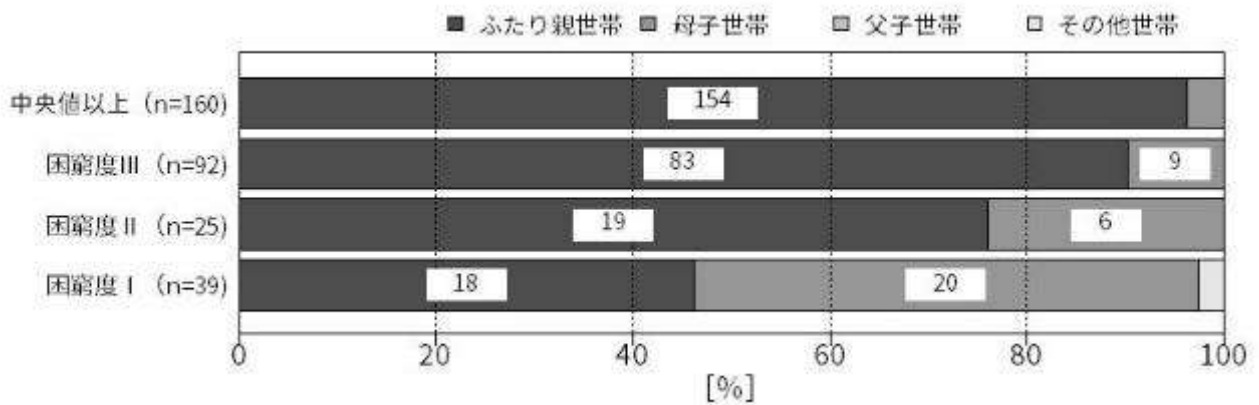
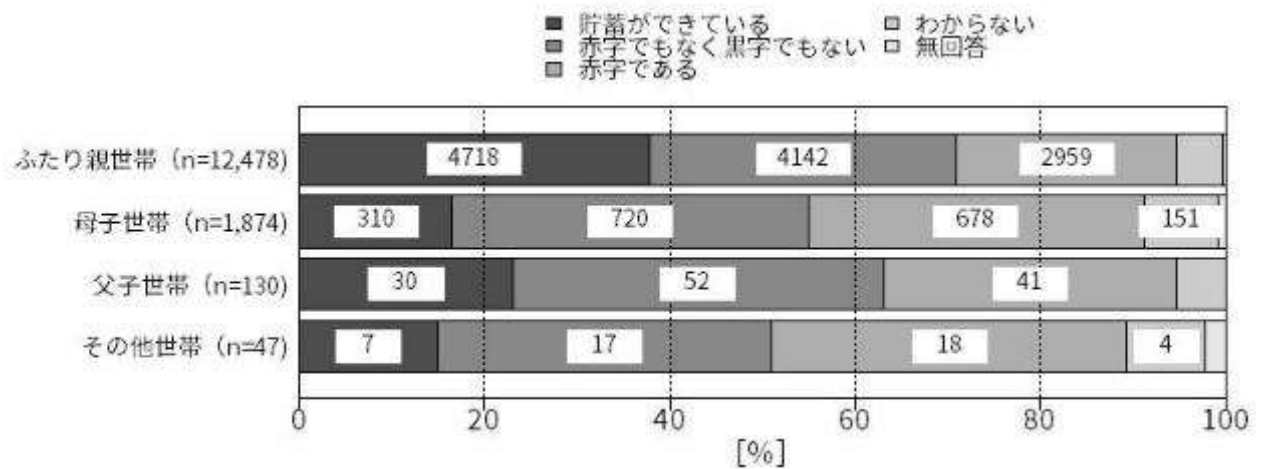


図 64. 困窮度別に見た、世帯員の構成

困窮度が高まるにつれ、ふたり親世帯の割合が低くなり、母子世帯の割合が高くなる。困窮度Ⅰ群では、「母子世帯」の割合が高くなっており、51.3%であった。

世帯構成別に見た、家計状況（問1×問5-1）

<大阪市24区>



<大阪市東成区>

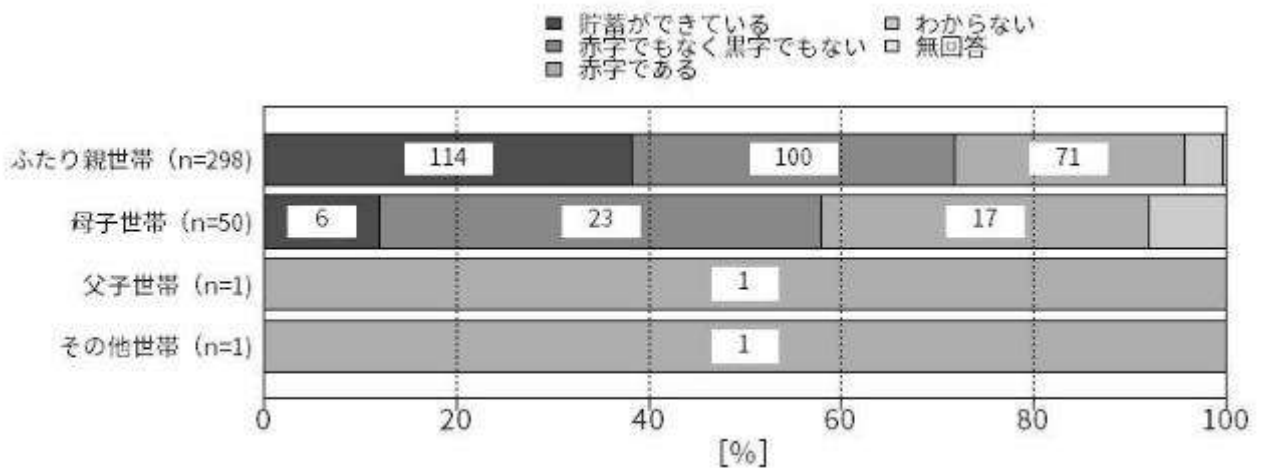
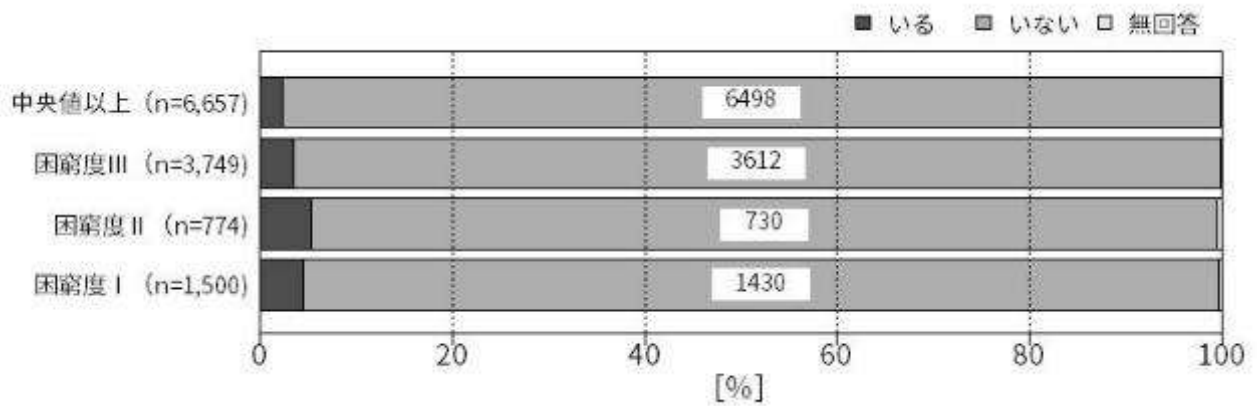


図 65. 世帯構成別に見た、家計状況

ふたり親世帯では 38.3%が「貯蓄ができている」が、母子世帯では「赤字でも黒字でもない」「赤字である」が多い（それぞれ 46.0%、34.0%）。父子世帯は人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

困窮度別に見た、介護または介助の必要な人（問 3-1-2）

<大阪市 24 区>



<大阪市東成区>

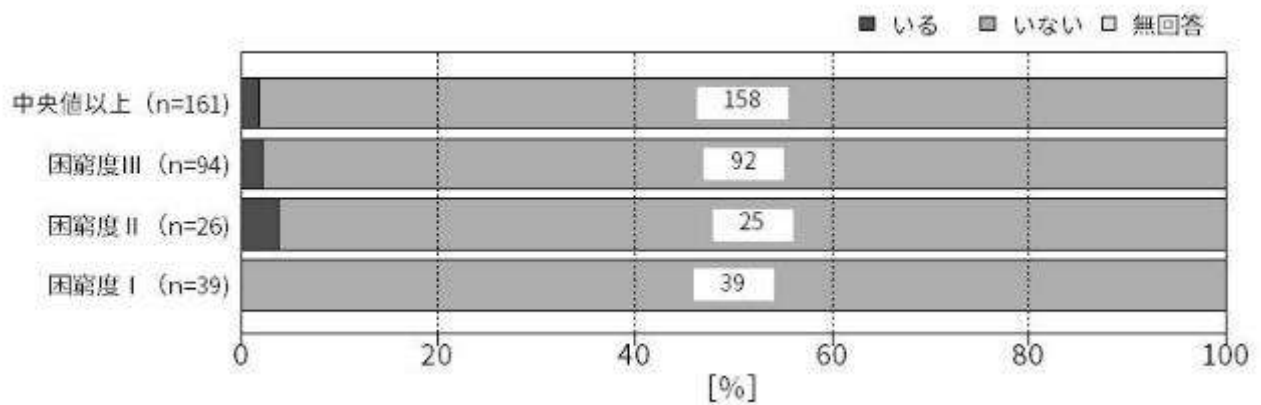
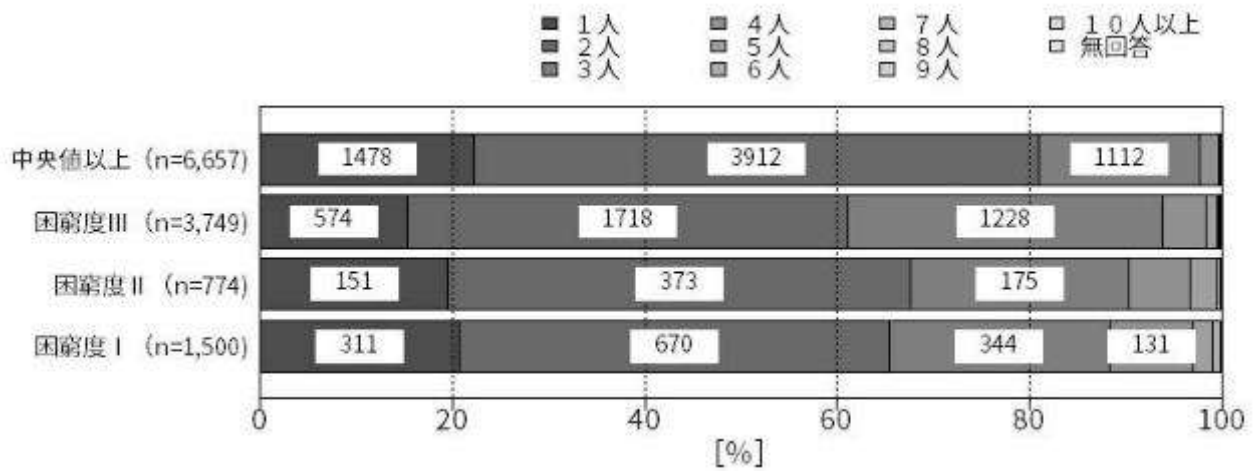


図 66. 困窮度別に見た、介護または介助の必要な人

困窮度によって大きな差は見られなかった。

困窮度別に見た、子どもの人数（問 3-1-3）

<大阪市 24 区>



<大阪市東成区>

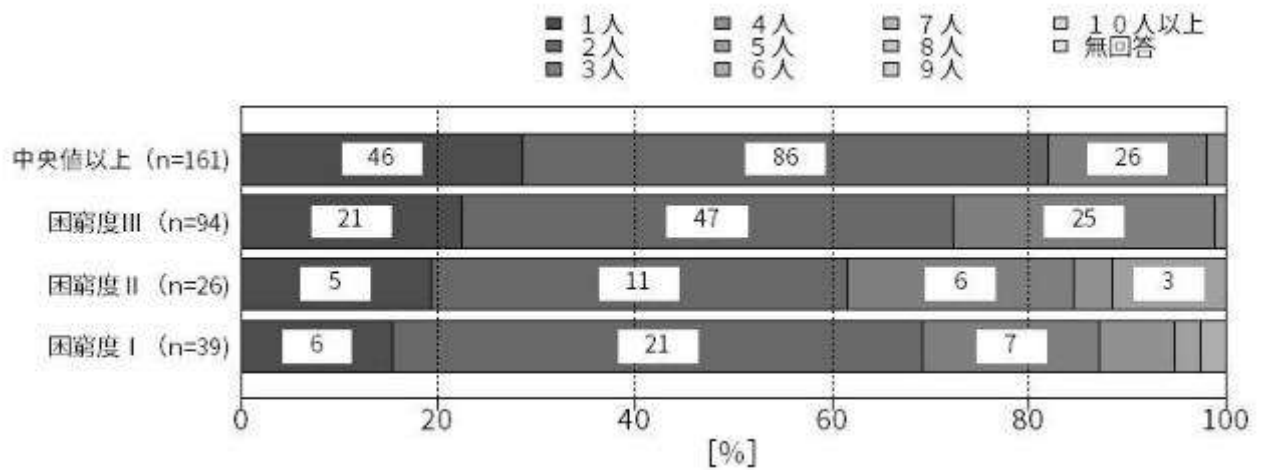
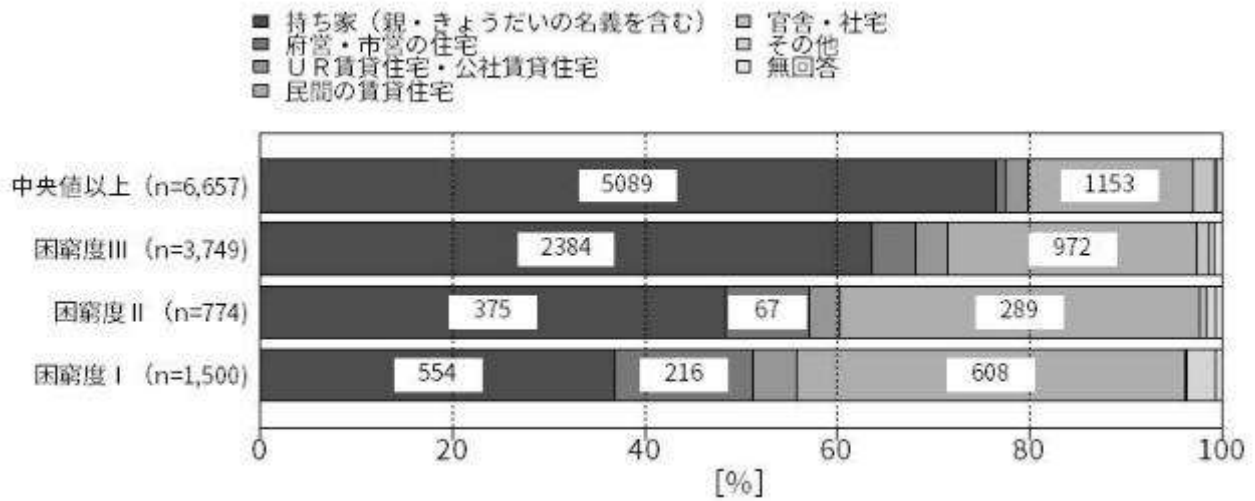


図 67. 困窮度別に見た、子どもの人数

中央値以上群に比べ、困窮度Ⅰでは、子どもの人数が3人以上の世帯が30.8%を占めていた。

困窮度別に見た、住居（問 4）

<大阪市 24 区>



<大阪市東成区>

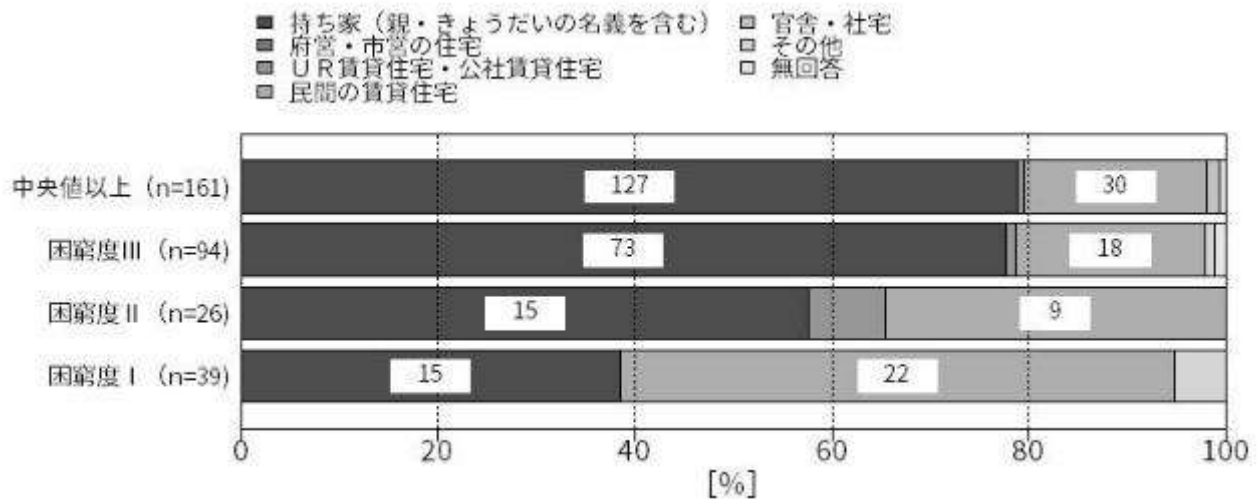
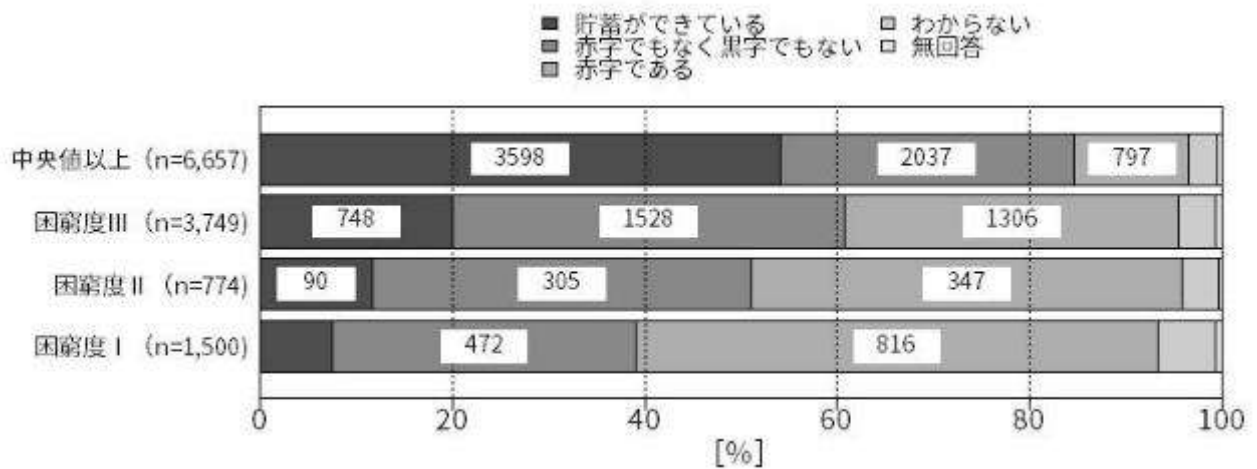


図 68. 困窮度別に見た、住居

困窮度が高まるにつれて持ち家の保有率は低くなっている。困窮度Ⅰ群では、「民間の賃貸住宅」が56.4%（中央値以上群に対して3.0倍）であった。

困窮度別に見た、家計状況（問 5-1）

<大阪市 24 区>



<大阪市東成区>

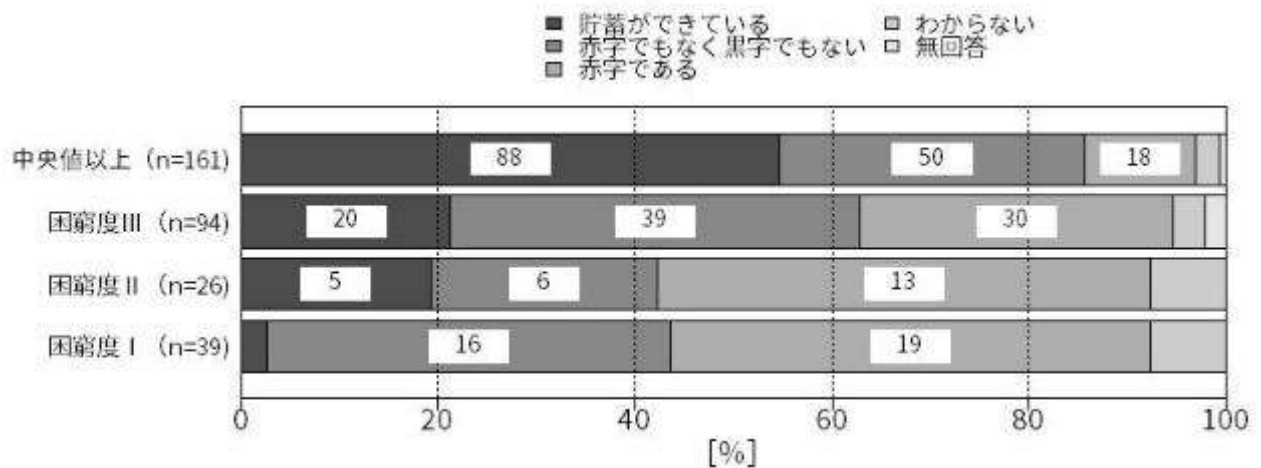
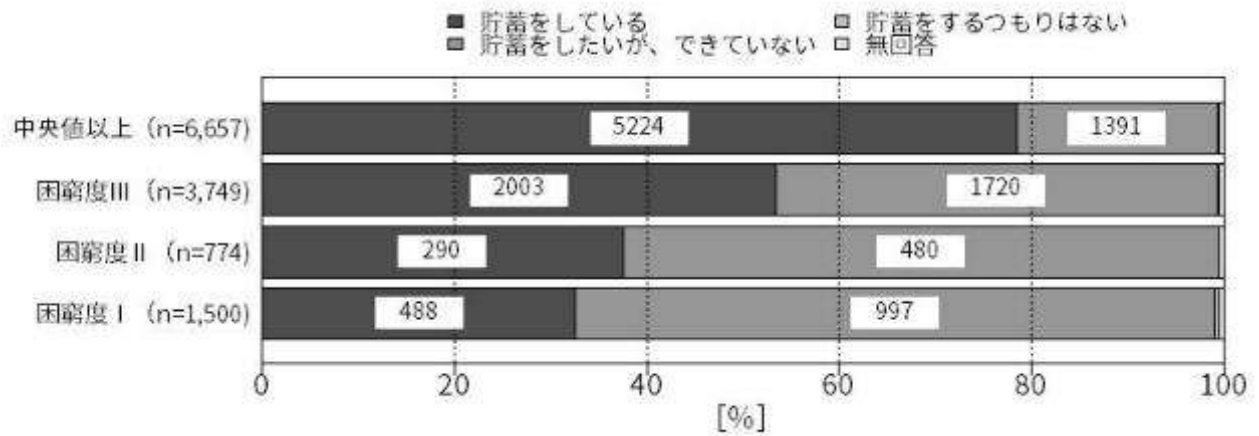


図 69. 困窮度別に見た、家計状況

困窮度が高まるにつれて、貯蓄ができていますの割合が低くなり、赤字である割合が高くなる。困窮度Ⅰ群では、「赤字でもなく黒字でもない」が41.0%、「赤字である」が48.7%を占めていた。

困窮度別に見た、子どものための貯蓄（問 5-3）

<大阪市 24 区>



<大阪市東成区>

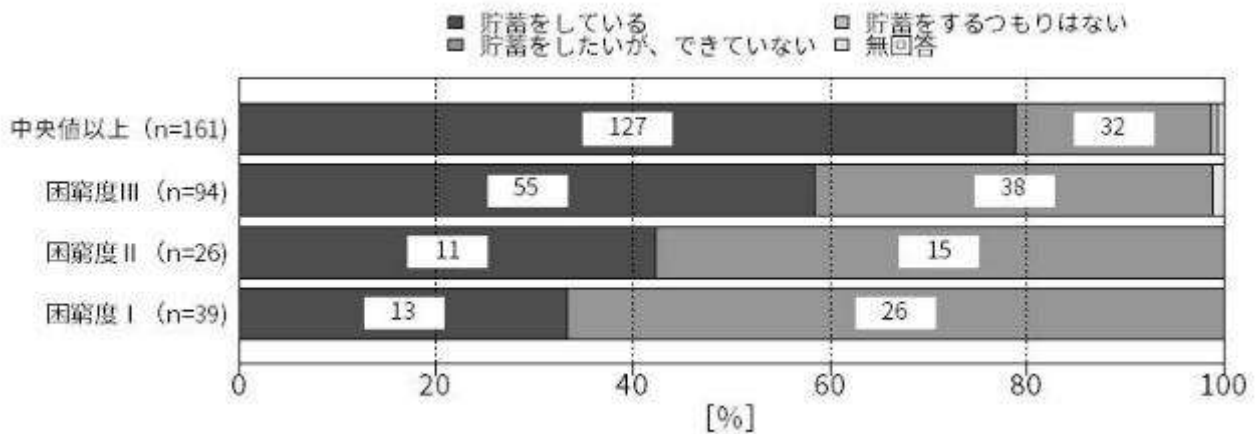


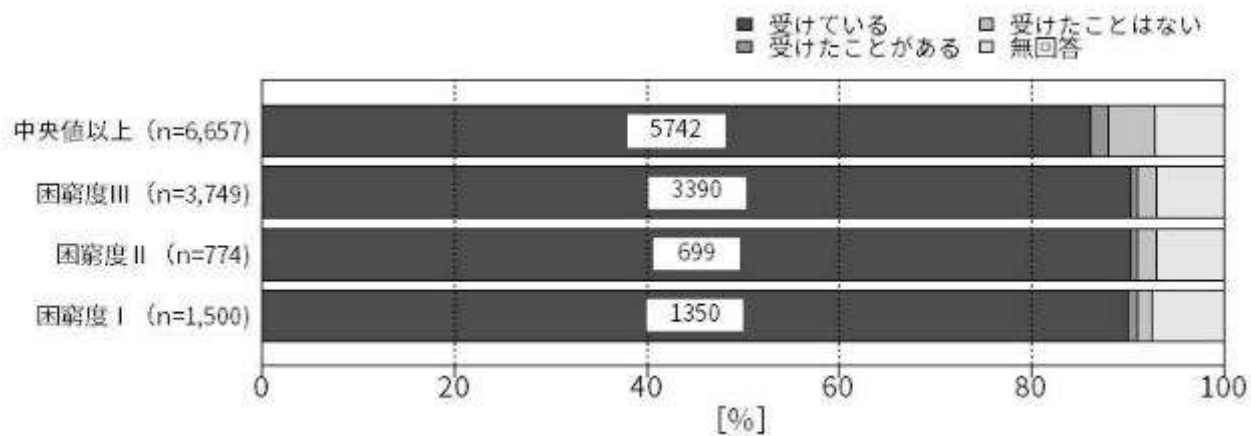
図 70. 困窮度別に見た、子どものための貯蓄

困窮度が高まるにつれて、貯蓄をしている割合が低くなり、「貯蓄をしたいが、できていない」という回答をした割合が高くなっている。困窮度Ⅰ群では、「貯蓄をしたいが、できていない」が66.7%を占めていた。

(2) 家庭状況（制度等）

困窮度別に見た、児童手当（問 41-3-1）

<大阪市 24 区>



<大阪市東成区>

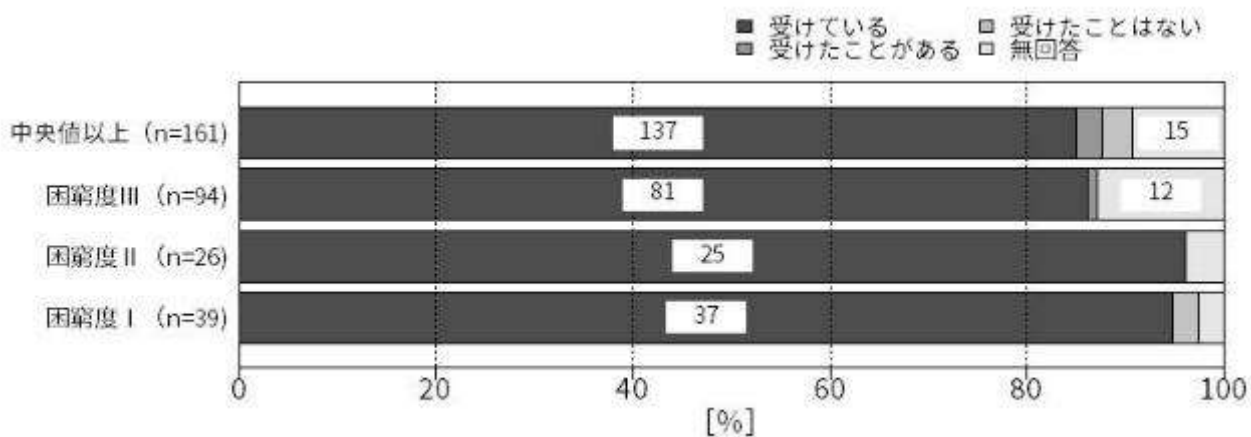
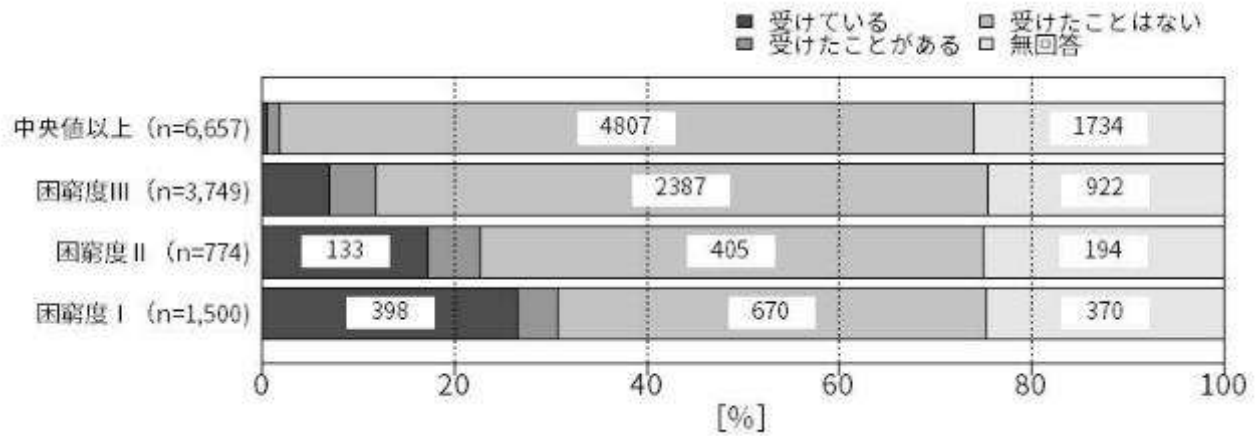


図 71. 困窮度別に見た、児童手当

困窮度による大きな差は見られなかった。

困窮度別に見た、就学援助（問 41-3-2）

<大阪市 24 区>



<大阪市東成区>

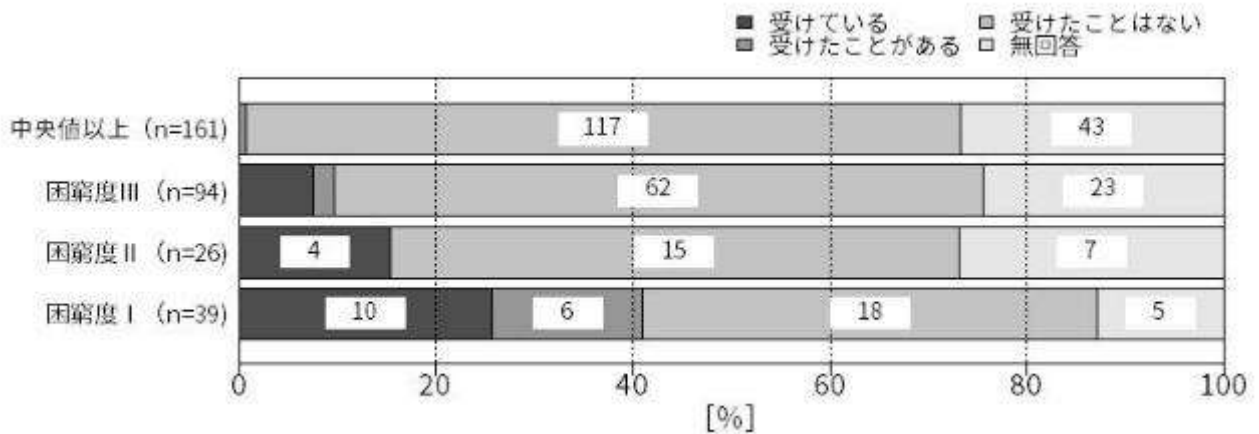
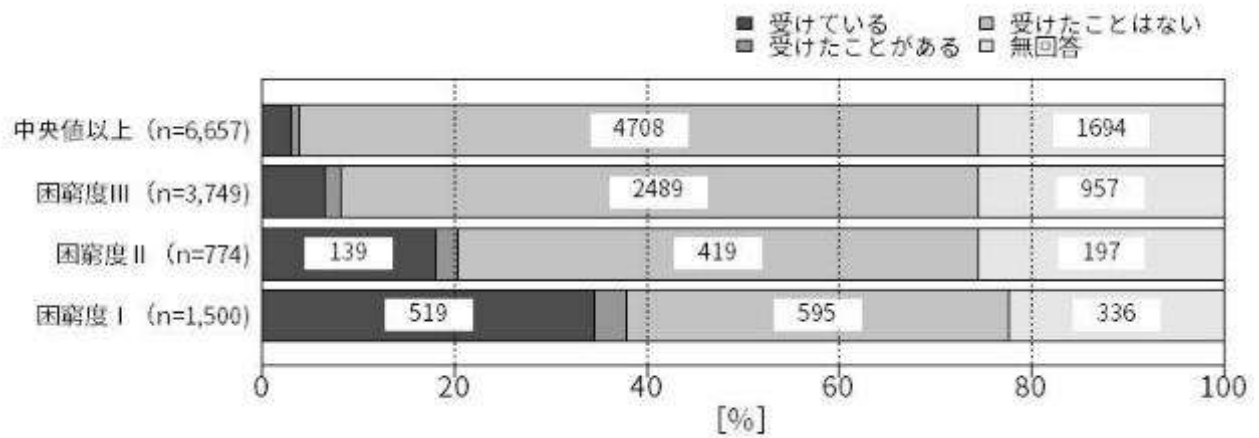


図 72. 困窮度別に見た、就学援助

困窮度が厳しくなるにつれて、受けている割合が増える傾向にあり、困窮度Ⅰ群においては25.6%となった。いずれの群においても無回答の割合が同程度見られる。

困窮度別に見た、児童扶養手当（問 41-3-3）

<大阪市 24 区>



<大阪市東成区>

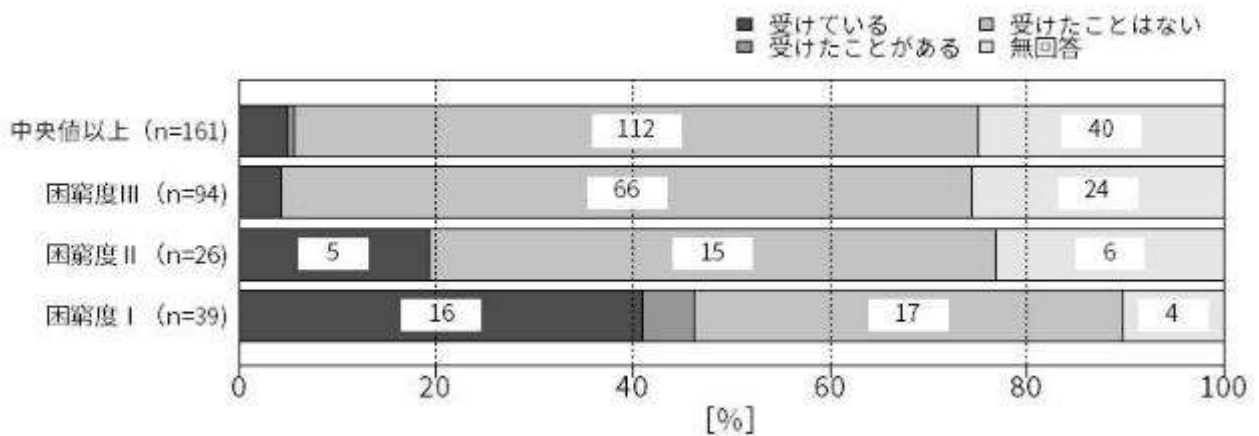
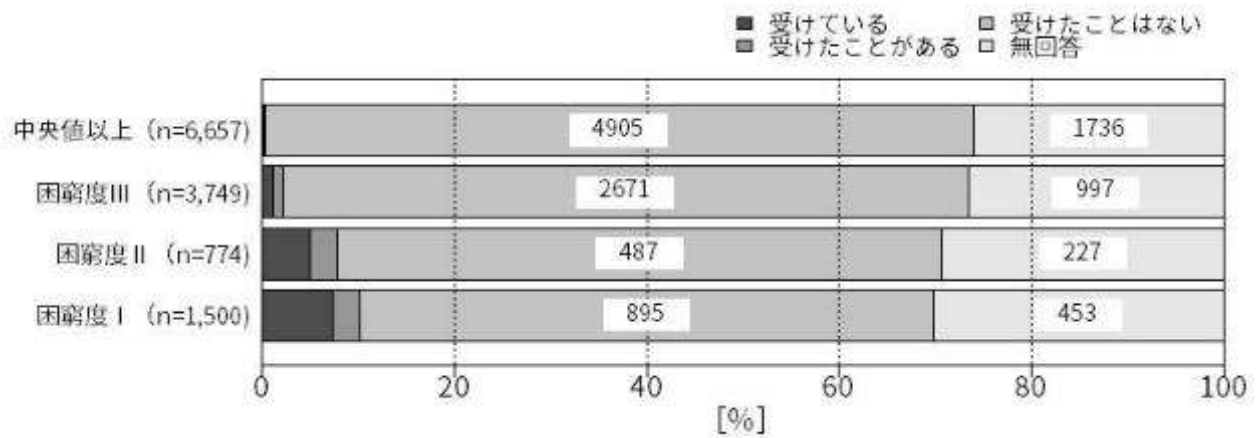


図 73. 困窮度別に見た、児童扶養手当

困窮度が厳しくなるにつれて、受けている割合が増える傾向にあり、困窮度Ⅰ群においては41.0%となった。いずれの群においても無回答の割合が同程度見られる。

困窮度別に見た、生活保護（問 41-3-5）

<大阪市 24 区>



<大阪市東成区>

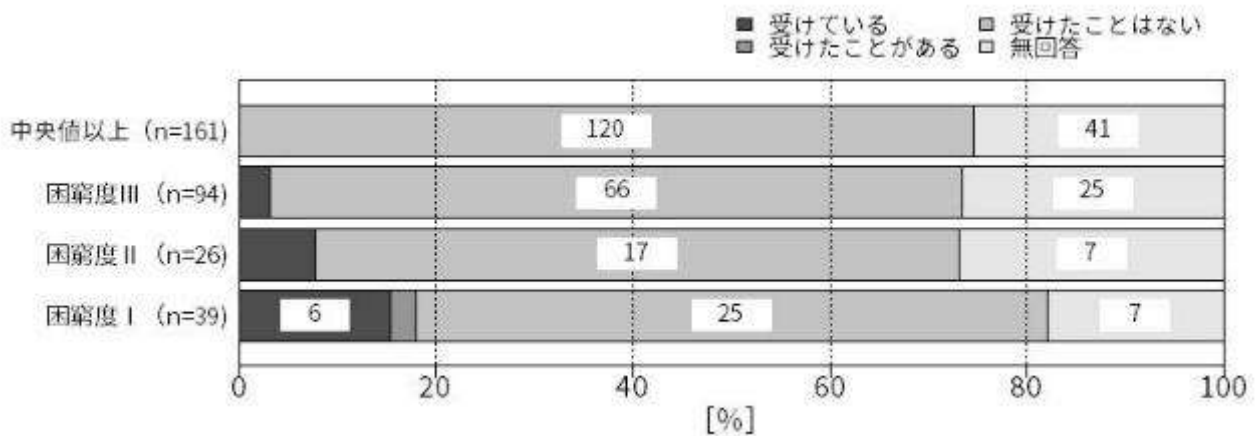
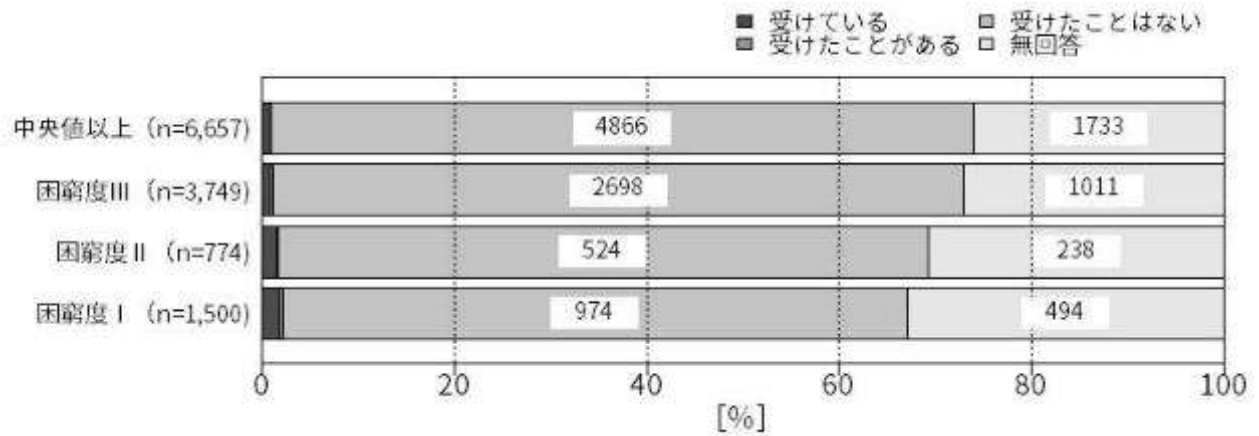


図 74. 困窮度別に見た、生活保護

困窮度が厳しくなるにつれて、受けている割合が増える傾向にあり、困窮度Ⅰ群においては15.4%となった。いずれの群においても無回答の割合が同程度見られる。

困窮度別に見た、公的年金（遺族年金、障がい年金）（問 41-3-7）

<大阪市 24 区>



<大阪市東成区>

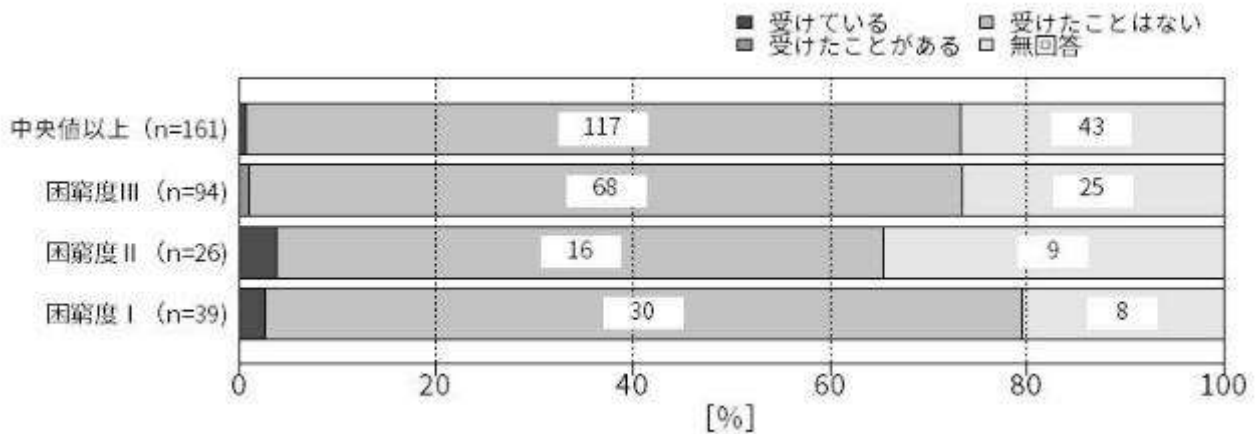
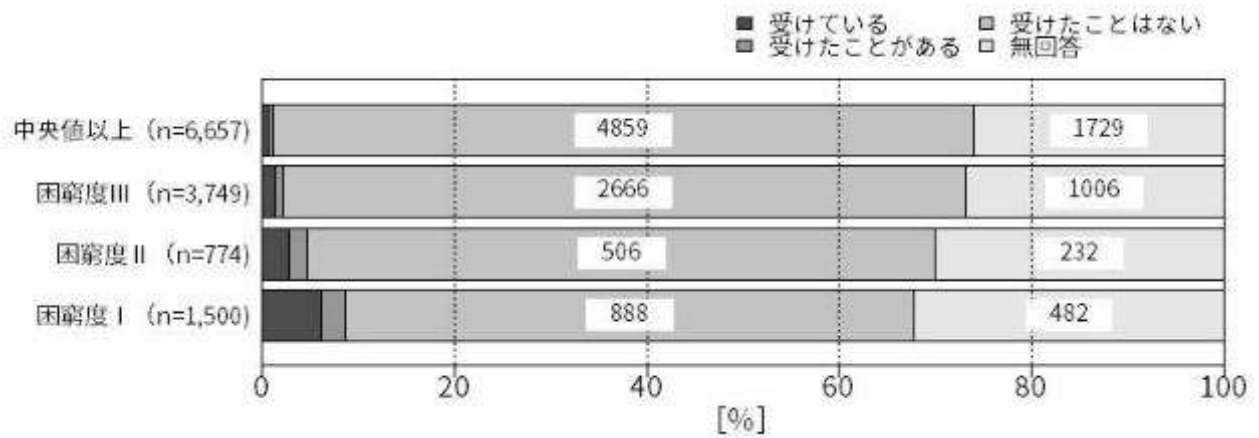


図 75. 困窮度別に見た、公的年金（遺族年金、障がい年金）

困窮度が厳しくなるにつれて、受けている割合がわずかながら増える傾向にあり、困窮度Ⅰ群においては2.6%となった。いずれの群においても無回答の割合が見られる。

困窮度別に見た、養育費（問 42-3-9）

<大阪市 24 区>



<大阪市東成区>

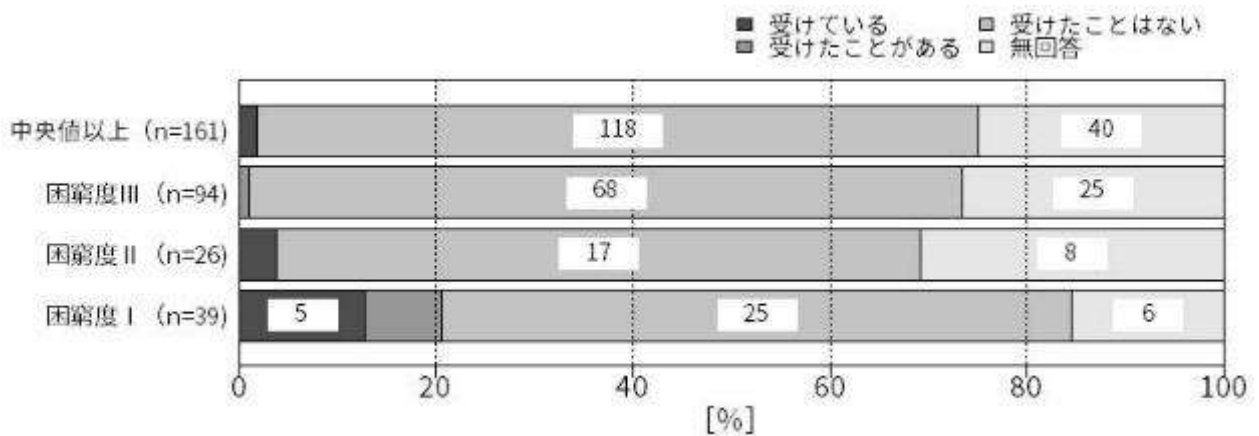
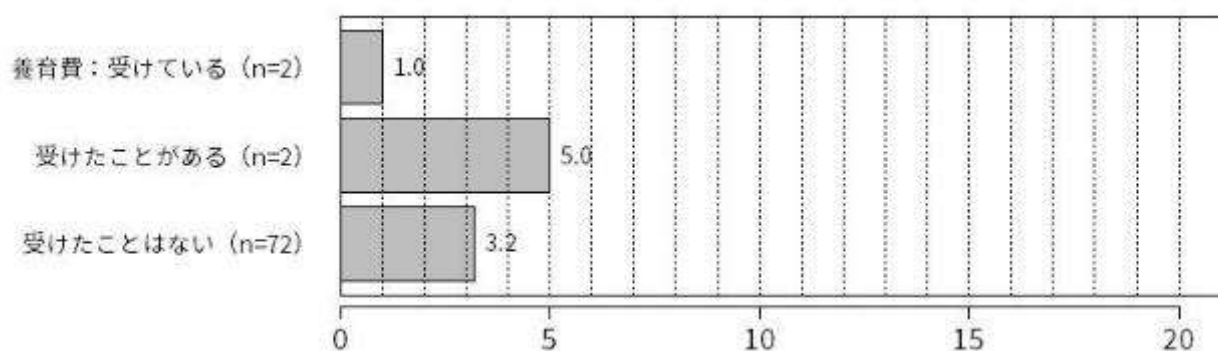


図 76. 困窮度別に見た、養育費

困窮度が厳しくなるにつれて、受けている割合がわずかながら増える傾向にあり、困窮度Ⅰでは、12.8%が受けていた。いずれの群においても無回答の割合が見られる。

養育費の受給別に見た、経済的な理由による経験の該当数の平均（問 30-3-9×問 6）＜父子世帯＞

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市東成区＞

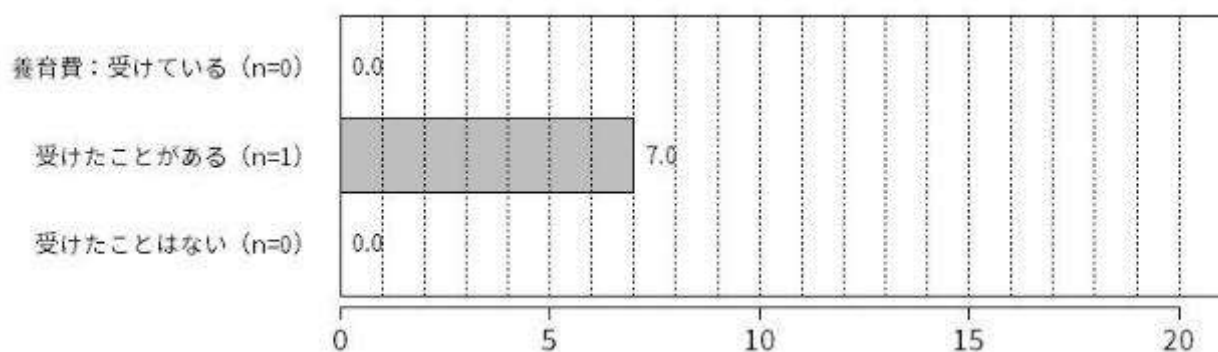
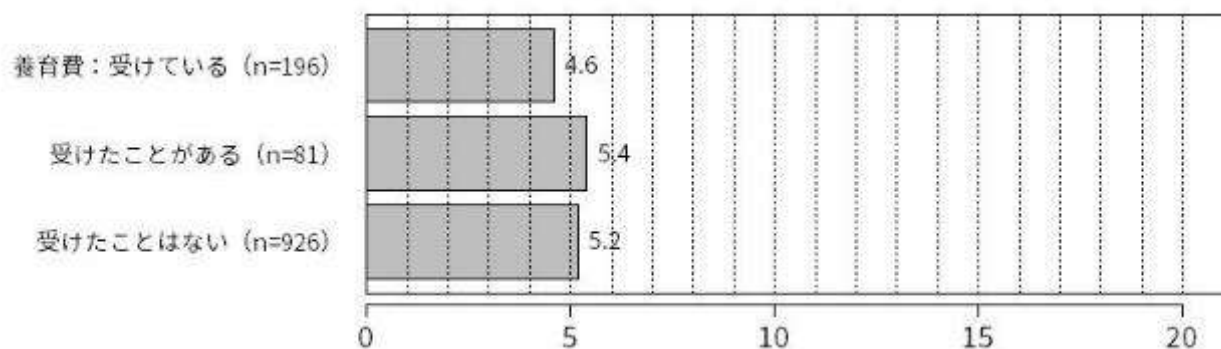


図 77. 養育費の受給別に見た、経済的な理由による経験の該当数の平均
＜父子世帯＞

養育費を受けている世帯・受けたことはない世帯は回答がなかったため、比較して傾向を述べることはできない。

養育費の受給別に見た、経済的な理由による経験の該当数の平均（問 30-3-9×問 6）＜母子世帯＞

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市東成区＞

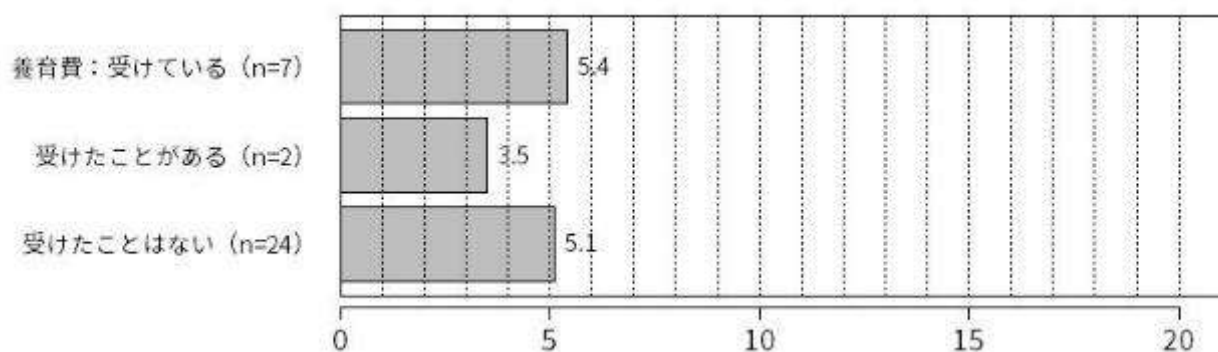
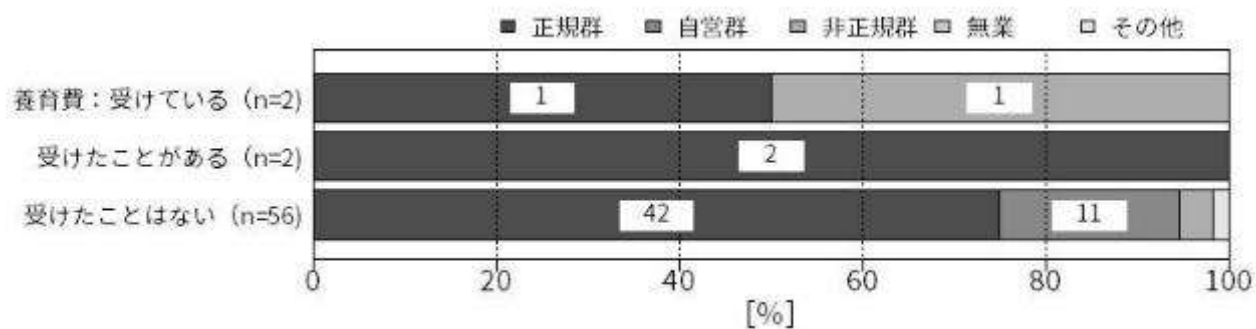


図 78. 養育費の受給別に見た、経済的な理由による経験の該当数の平均
＜母子世帯＞

養育費を受けている世帯・受けたことがある世帯は人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

養育費の受給別に見た、就労状況（問 30-3-9×問 8）＜父子世帯＞

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市東成区＞

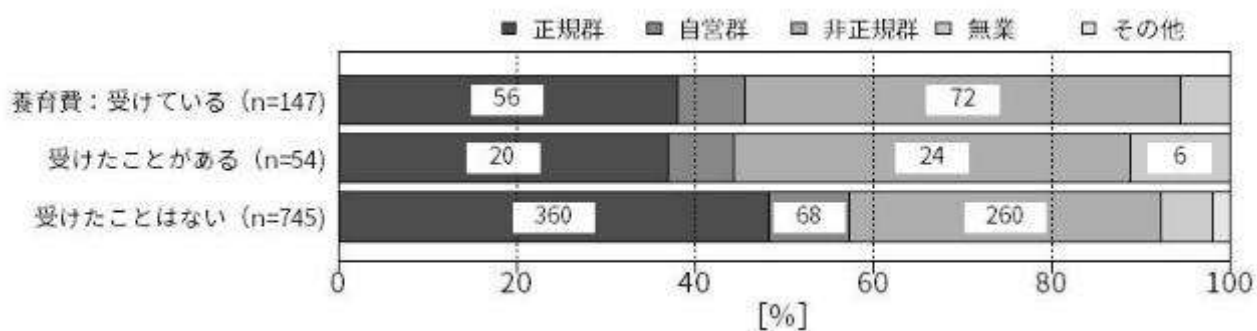


図 79. 養育費の受給別に見た、就労状況＜父子世帯＞

養育費を受けている世帯・受けたことはない世帯は回答がなかったため、比較して傾向を述べることはできない。

養育費の受給別に見た、就労状況（問 30-3-9×問 8）＜母子世帯＞

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市東成区＞

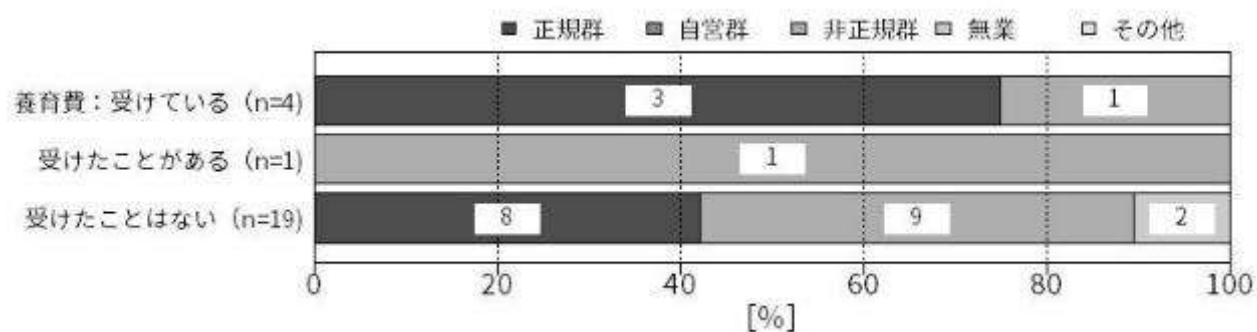
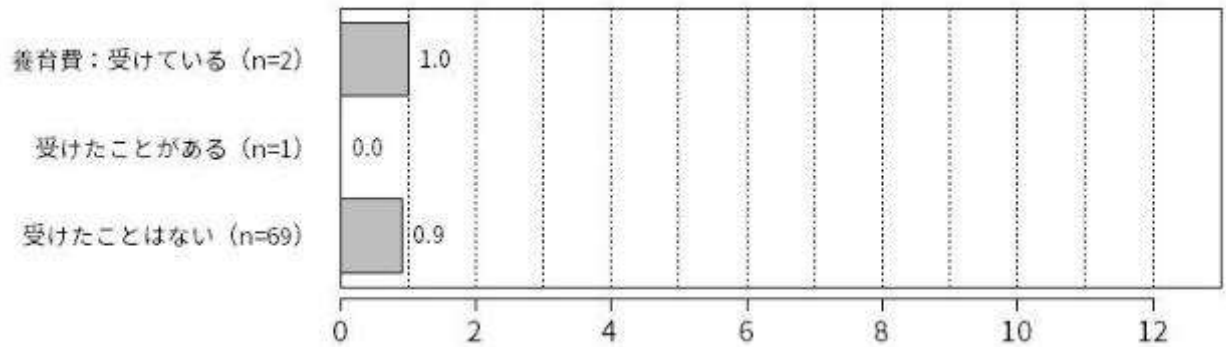


図 80. 養育費の受給別に見た、就労状況＜母子世帯＞

養育費を受けている世帯・受けたことがある世帯は人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

養育費の受給別に見た、子どもについて経済的な理由でできなかったこと（問 30-3-9×問 29）
 ＜父子世帯＞

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市東成区＞

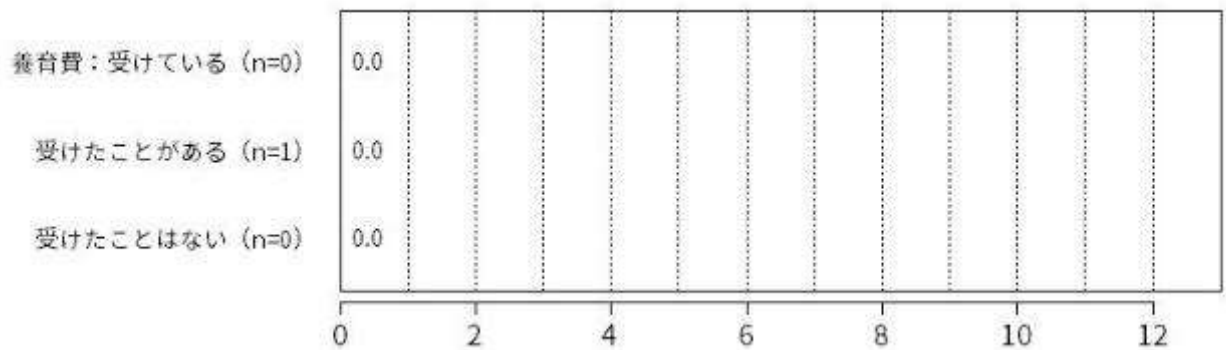
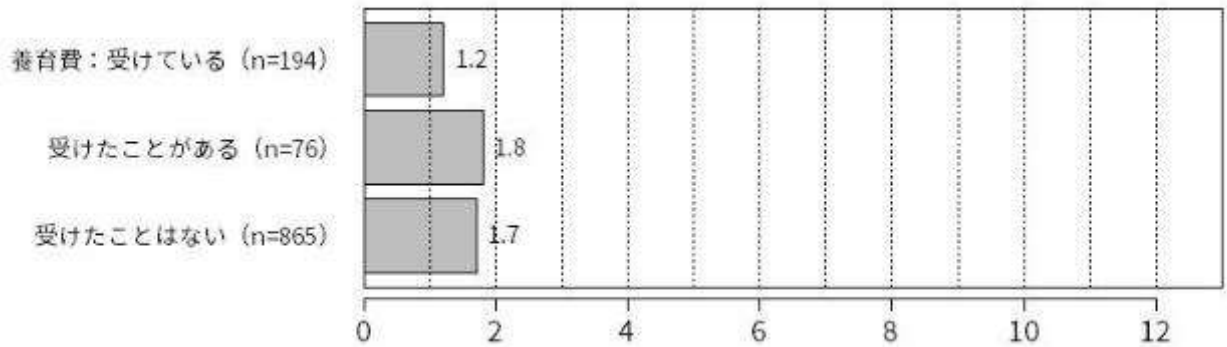


図 81. 養育費の受給別に見た、子どもについて経済的な理由でできなかったこと
 ＜父子世帯＞

いずれの群も回答がなかったため、比較して傾向を述べることはできない。

養育費の受給別に見た、子どもについて経済的な理由でできなかったこと（問 30-3-9×問 29）
 ＜母子世帯＞

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市東成区＞

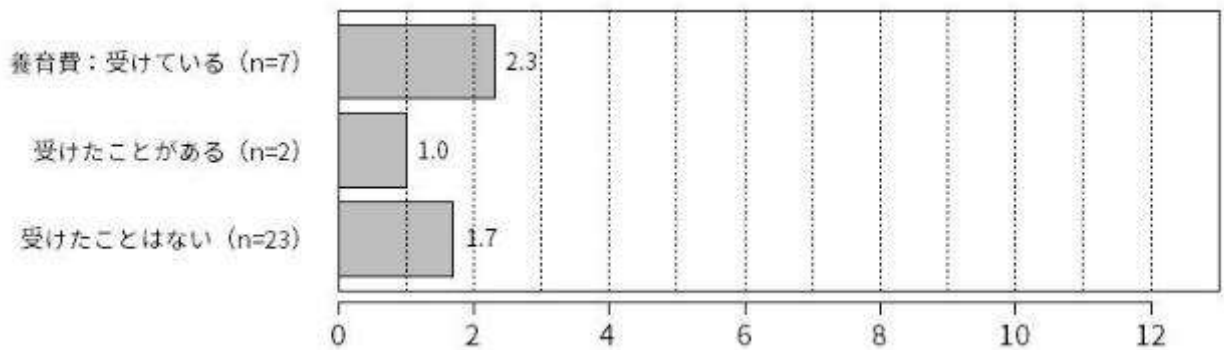
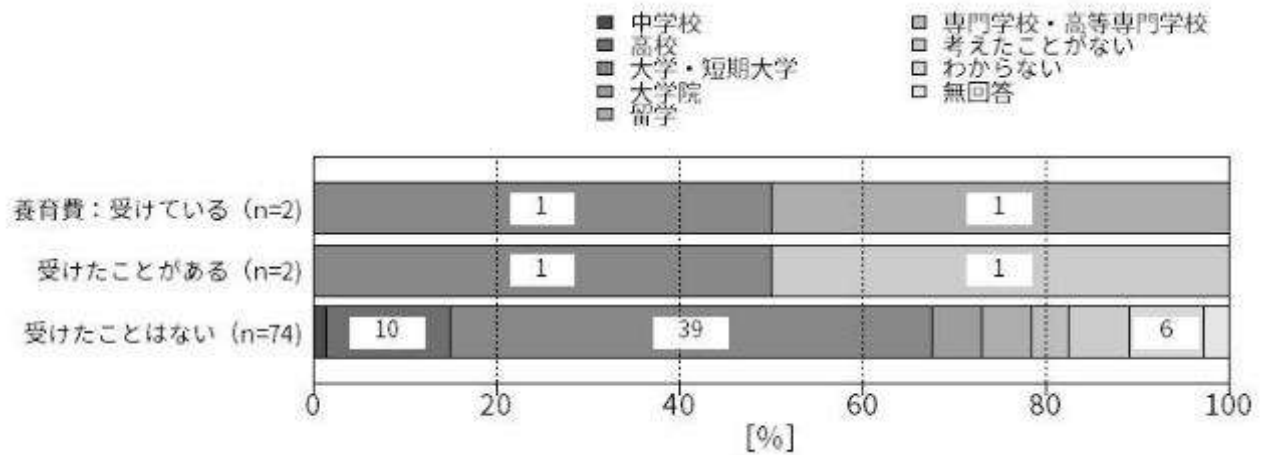


図 82. 養育費の受給別に見た、子どもについて経済的な理由でできなかったこと
 ＜母子世帯＞

養育費を受けている世帯・受けたことがある世帯は人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

養育費の受給別に見た、子の進学先希望（問 30-3-9×問 32）＜父子世帯＞

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市東成区＞

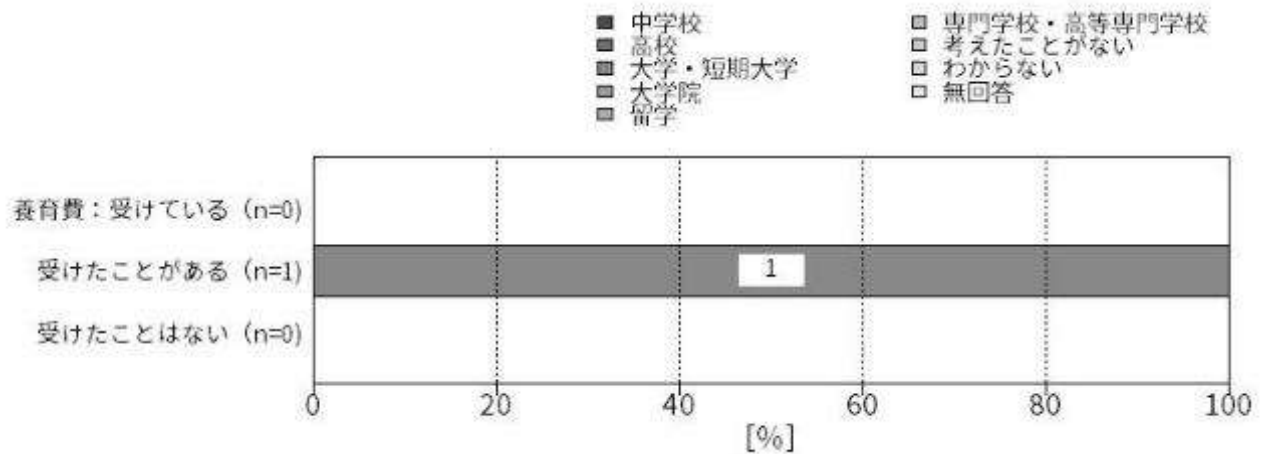
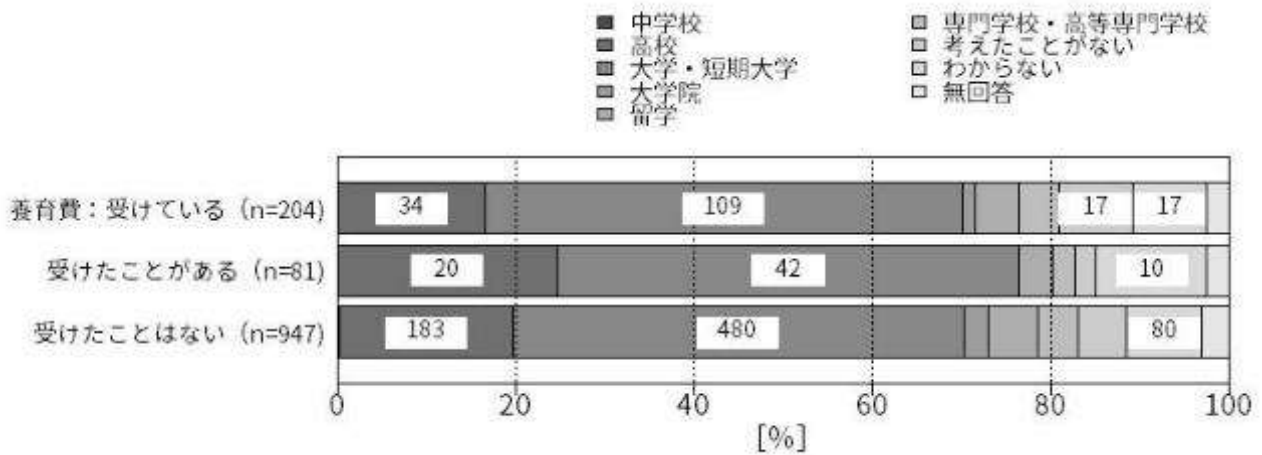


図 83. 養育費の受給別に見た、子の進学先希望
＜父子世帯＞

養育費を受けている世帯・受けたことはない世帯は回答がなかったため、比較して傾向を述べることはできない。

養育費の受給別に見た、子の進学先希望（問 30-3-9×問 32）＜母子世帯＞

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市東成区＞

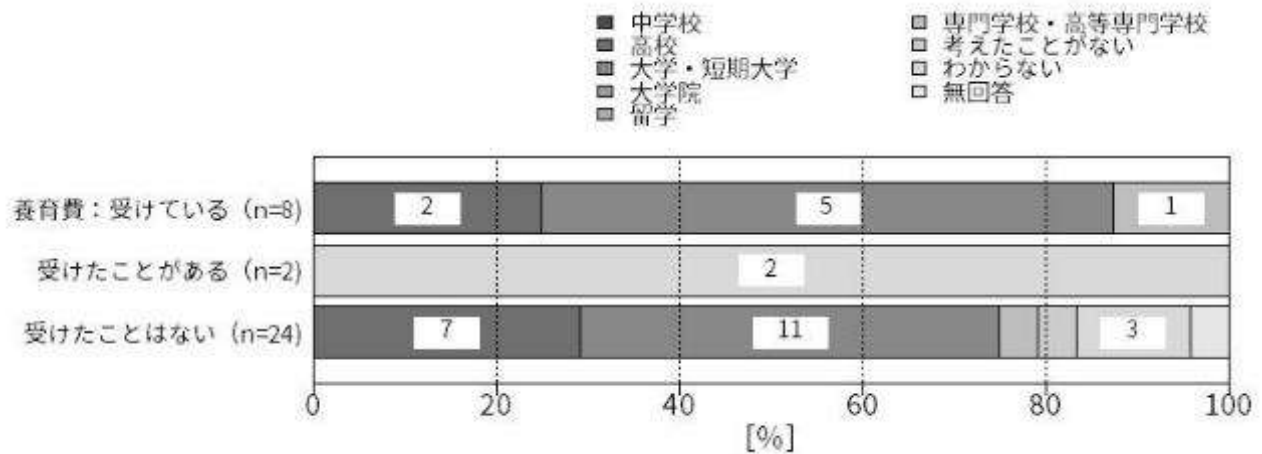
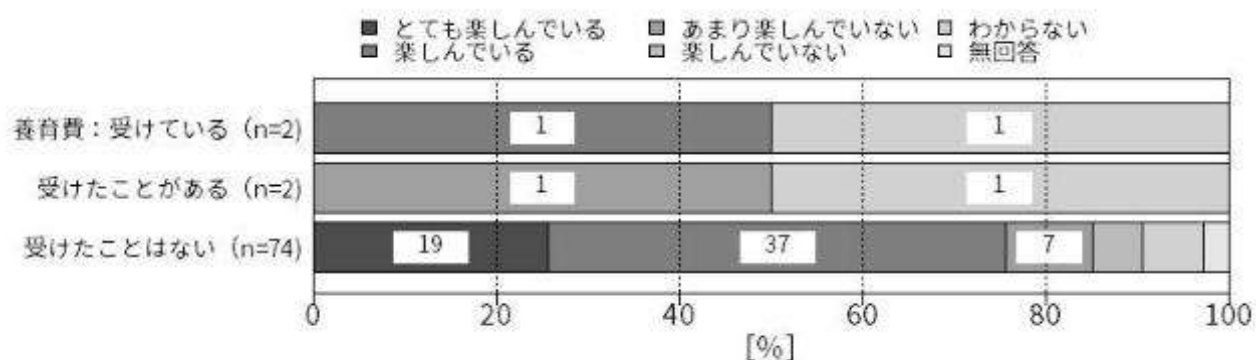


図 84. 養育費の受給別に見た、子の進学先希望
＜母子世帯＞

養育費を受けている世帯・受けたことがある世帯は人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

養育費の受給別に見た、心の状態（１）生活を楽しんでいる（問 30-3-9×問 36-1）＜父子世帯＞

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市東成区＞

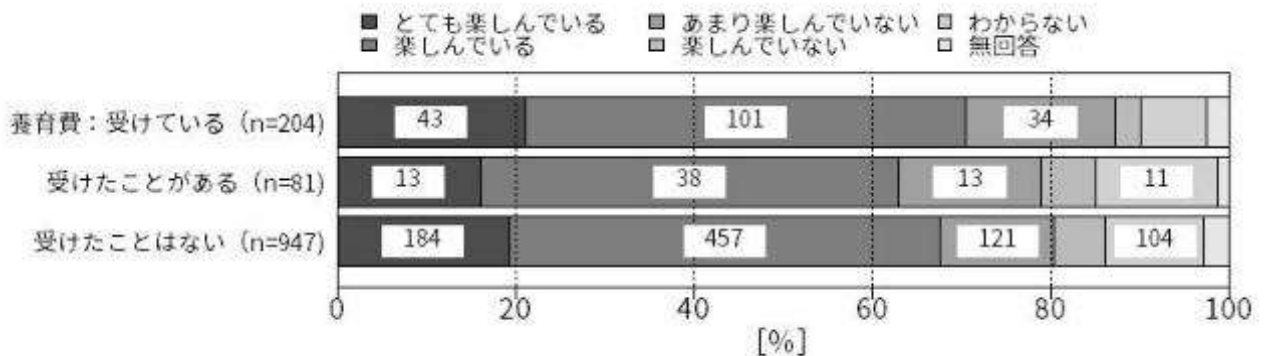


図 85. 養育費の受給別に見た、心の状態（１）生活を楽しんでいる
＜父子世帯＞

養育費を受けている世帯・受けたことはない世帯は回答がなかったため、比較して傾向を述べることはできない。

養育費の受給別に見た、心の状態（１）生活を楽しんでいる（問 30-3-9×問 36-1）＜母子世帯＞

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市東成区＞

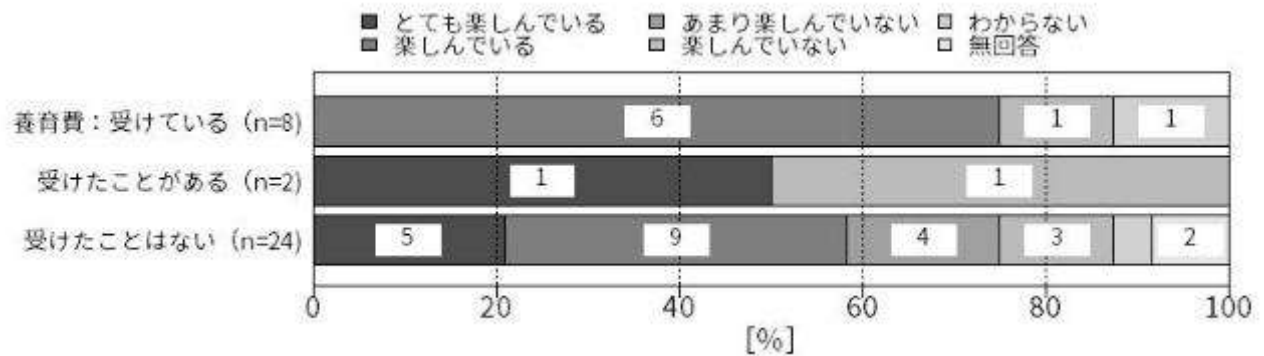
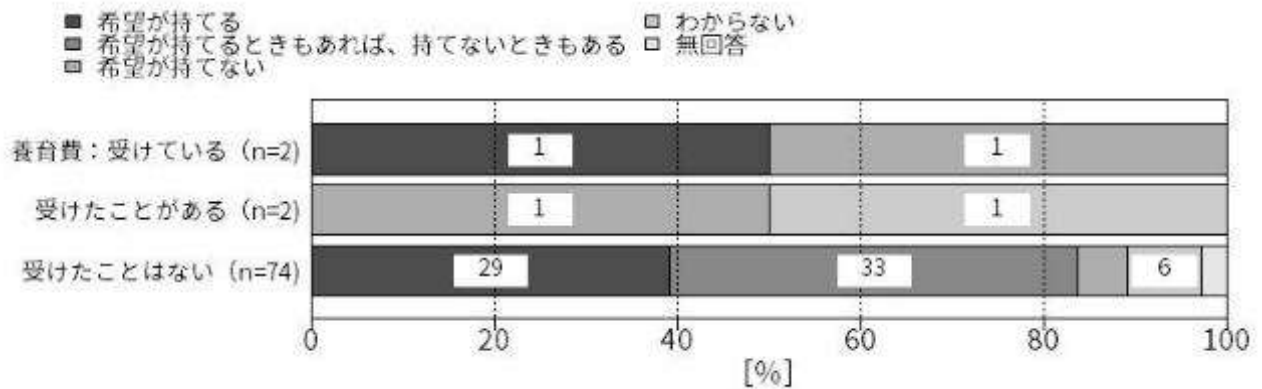


図 86. 養育費の受給別に見た、心の状態（１）生活を楽しんでいる
＜母子世帯＞

養育費を受けている世帯・受けたことがある世帯は人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

養育費の受給別に見た、心の状態（２）将来への希望（問 30-3-9×問 36-2）＜父子世帯＞

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市東成区＞

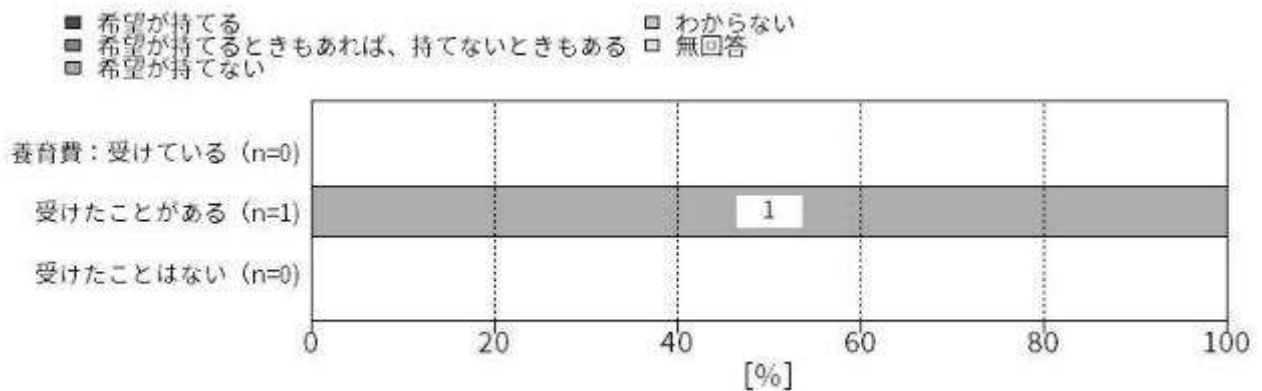
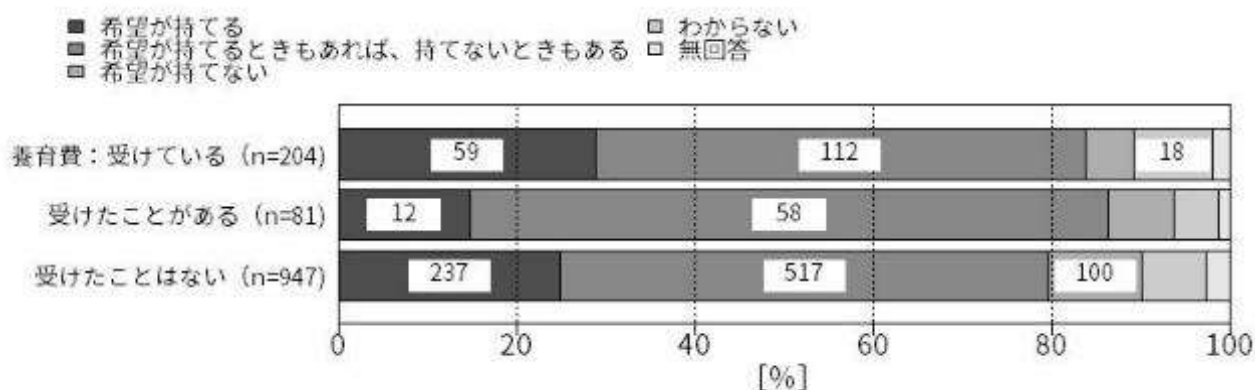


図 87. 養育費の受給別に見た、心の状態（２）将来への希望
＜父子世帯＞

養育費を受けている世帯・受けたことはない世帯は回答がなかったため、比較して傾向を述べることはできない。

養育費の受給別に見た、心の状態（２）将来への希望（問 30-3-9×問 36-2）＜母子世帯＞

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市東成区＞

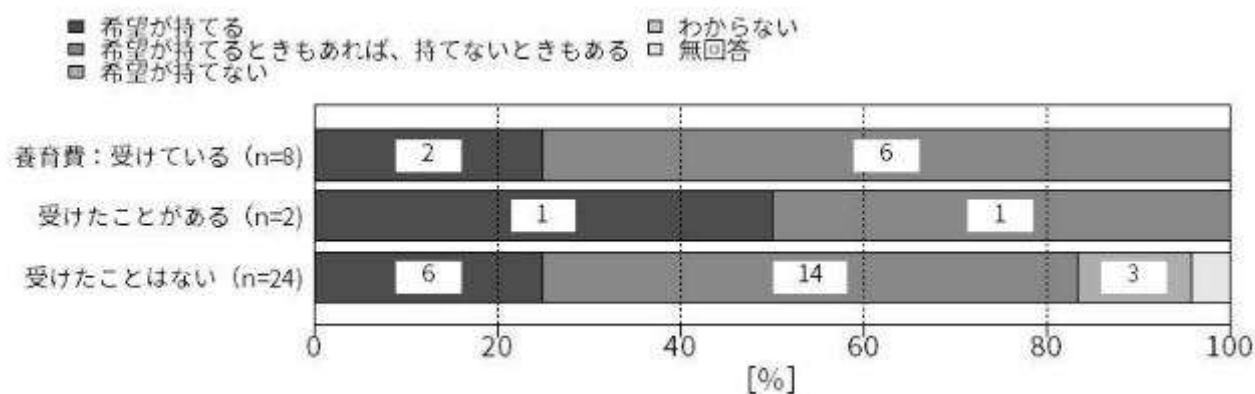


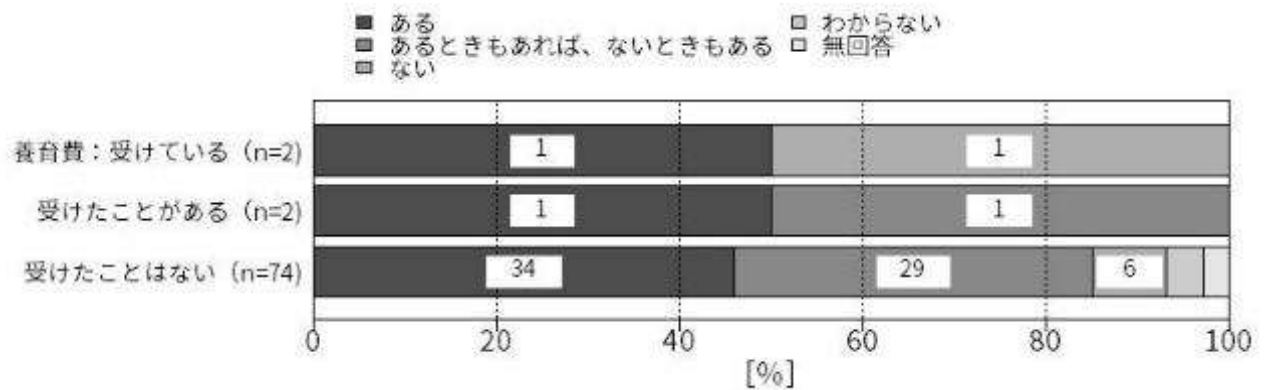
図 88. 養育費の受給別に見た、心の状態（２）将来への希望
＜母子世帯＞

養育費を受けている世帯・受けたことがある世帯は人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

養育費の受給別に見た、心の状態（3）ストレス発散できるもの（問 30-3-9×問 36-3）

<父子世帯>

<大阪市 24 区>



<大阪市東成区>

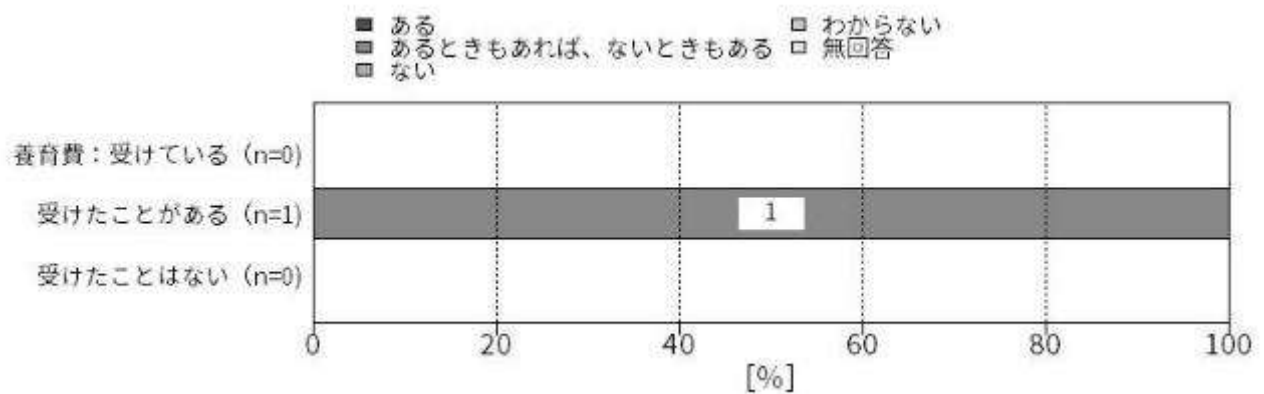


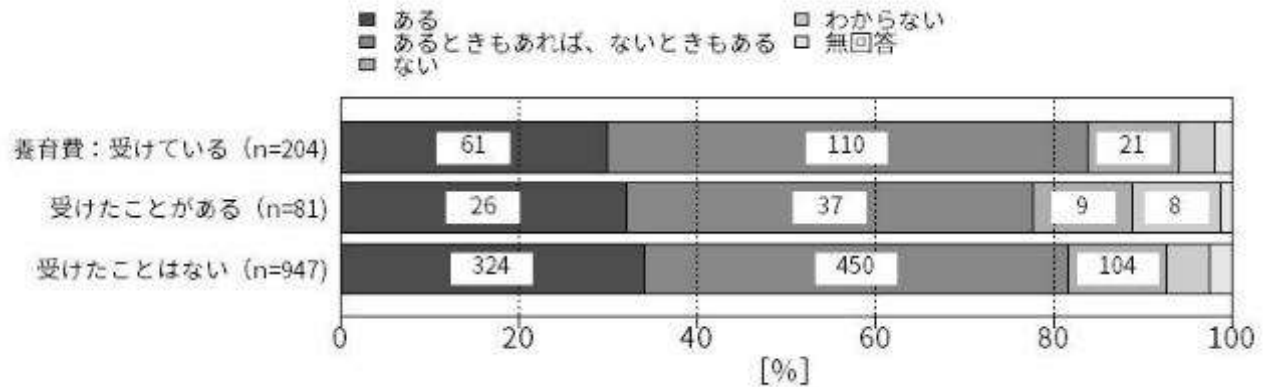
図 89. 養育費の受給別に見た、心の状態（3）ストレス発散できるもの
<父子世帯>

養育費を受けている世帯・受けたことはない世帯は回答がなかったため、比較して傾向を述べることはできない。

養育費の受給別に見た、心の状態（３）ストレス発散できるもの（問 30-3-9×問 36-3）

<母子世帯>

<大阪市 24 区>



<大阪市東成区>

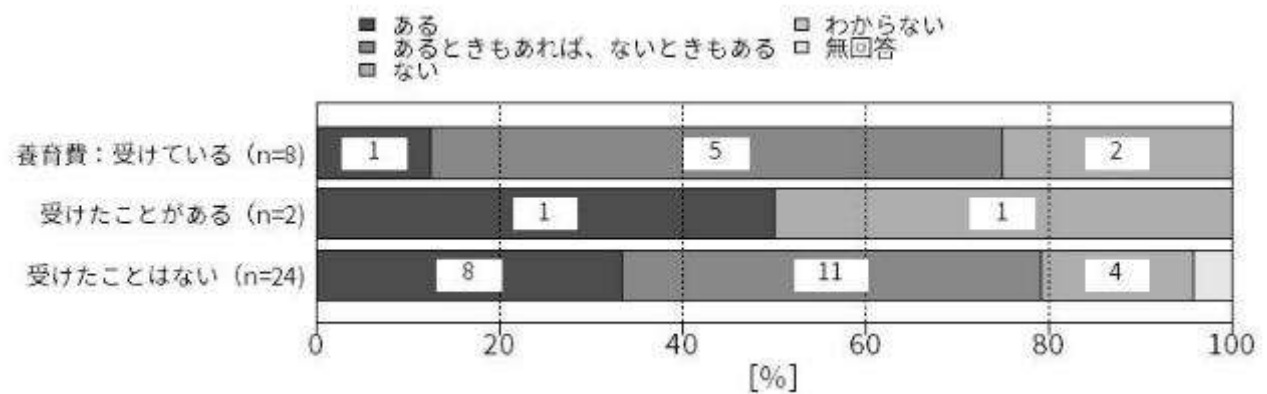
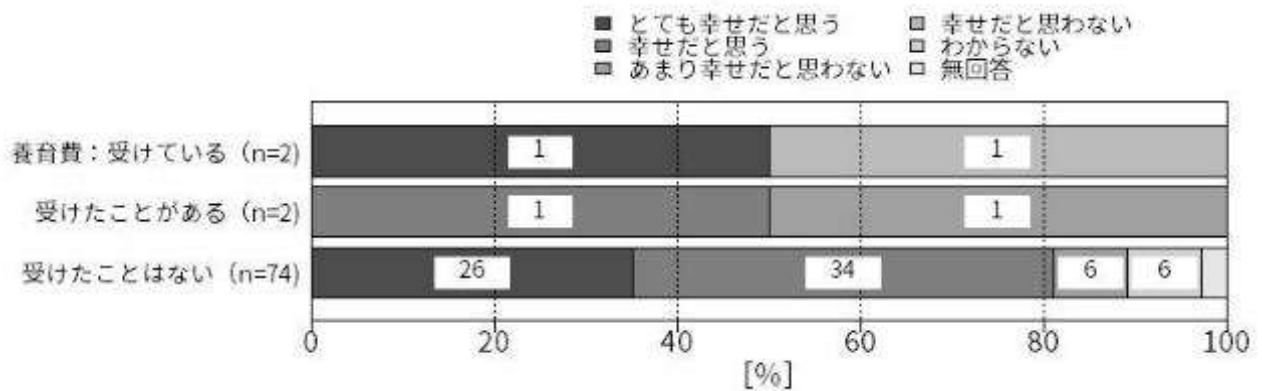


図 90. 養育費の受給別に見た、心の状態（３）ストレス発散できるもの
<母子世帯>

養育費を受けている世帯・受けたことがある世帯は人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

養育費の受給別に見た、心の状態（４）幸せだと思う（問 30-3-9×問 36-4）＜父子世帯＞

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市東成区＞

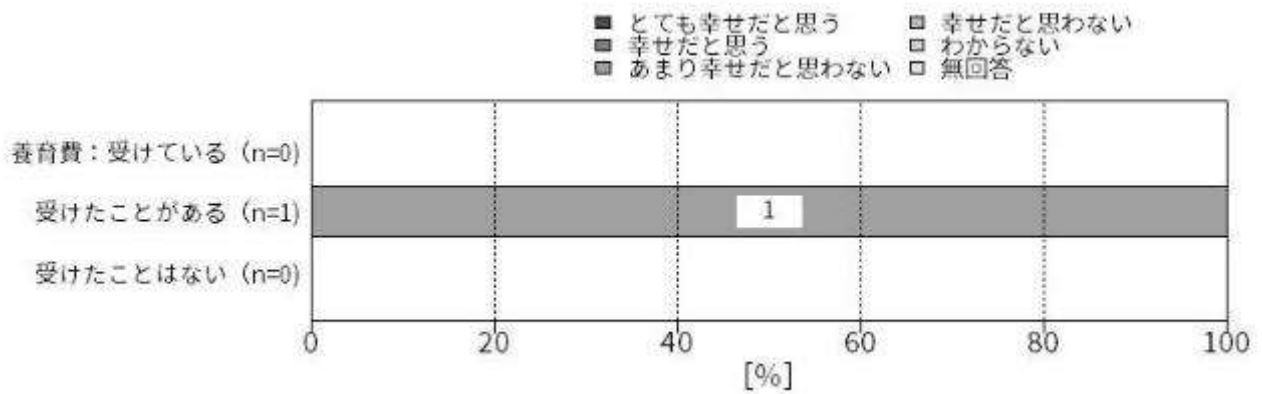
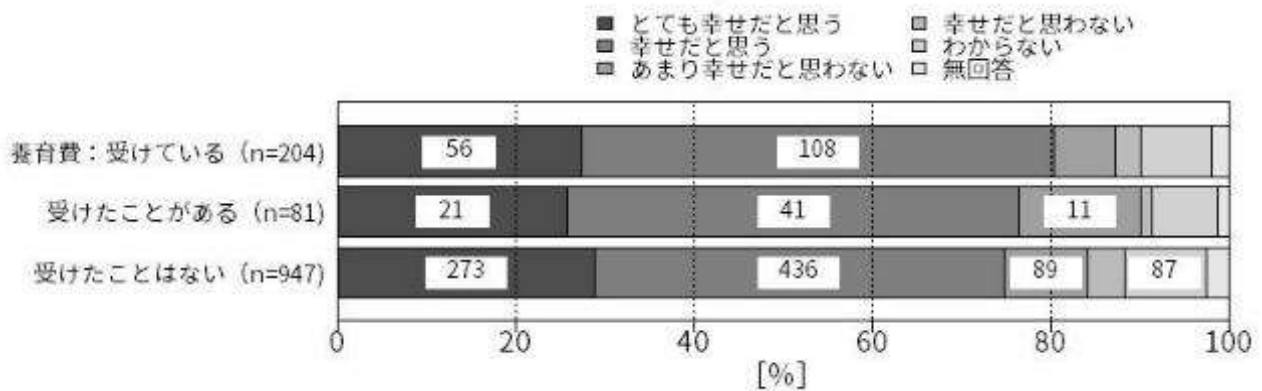


図 91. 養育費の受給別に見た、心の状態（４）幸せだと思う
＜父子世帯＞

養育費を受けている世帯・受けたことはない世帯は回答がなかったため、比較して傾向を述べることはできない。

養育費の受給別に見た、心の状態（４）幸せだと思う（問 30-3-9×問 36-4）＜母子世帯＞

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市東成区＞

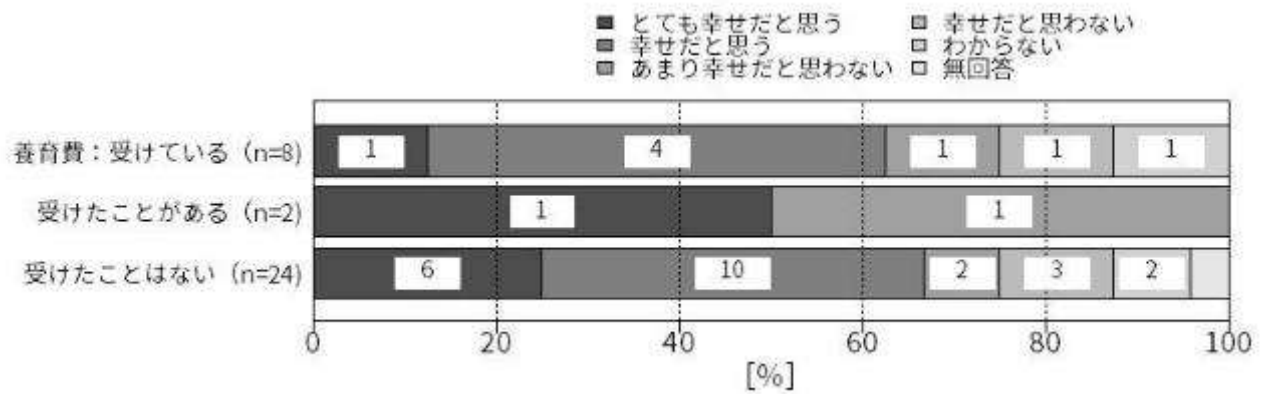
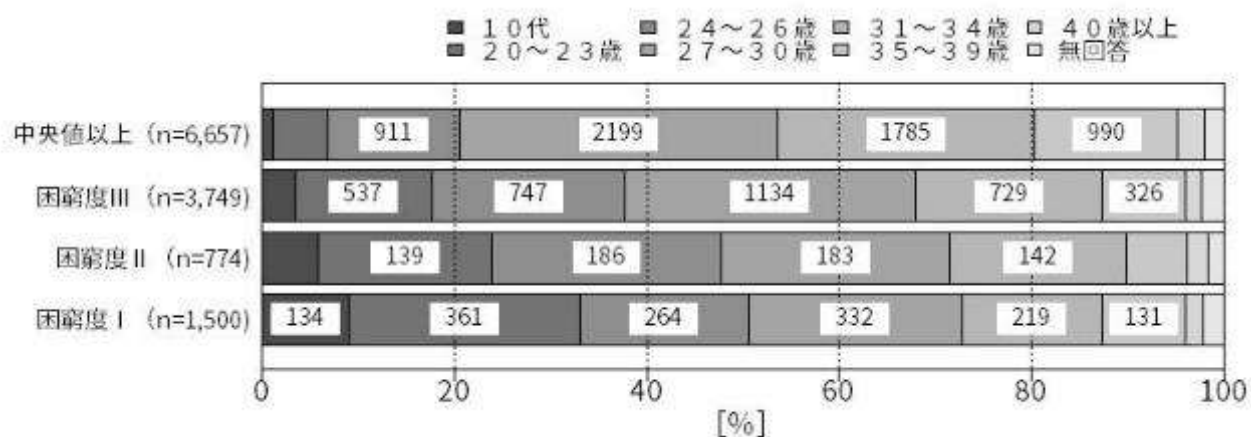


図 92. 養育費の受給別に見た、心の状態（４）幸せだと思う
＜母子世帯＞

養育費を受けている世帯・受けたことがある世帯は人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

困窮度別に見た、はじめて親となった年齢（問 33）

<大阪市 24 区>



<大阪市東成区>

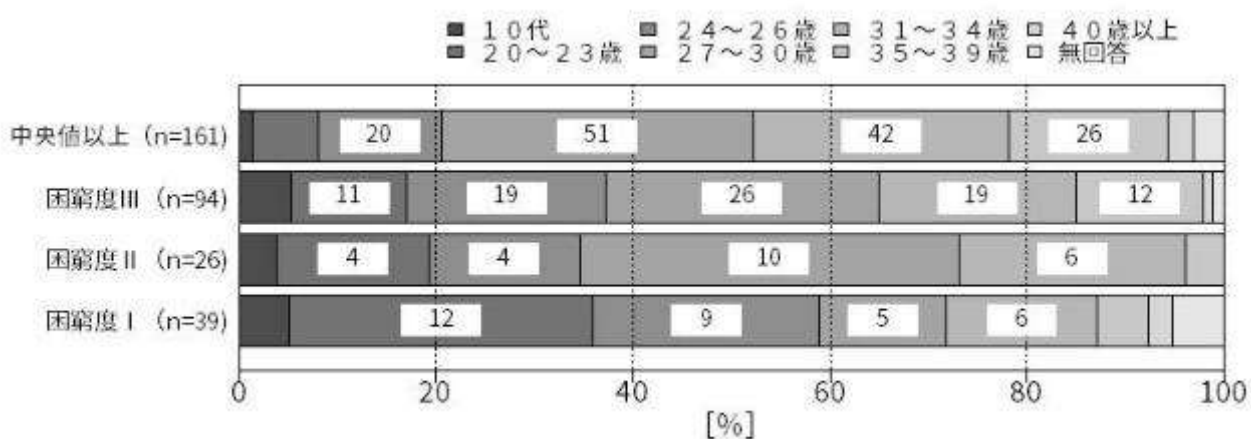
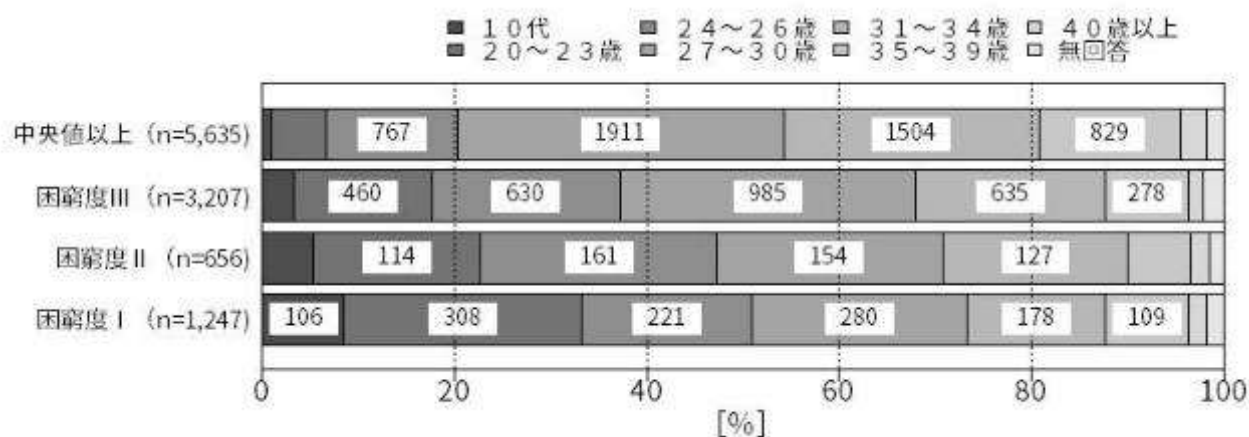


図 93. 困窮度別に見た、はじめて親となった年齢

困窮度が厳しくなるにしたがって、10 代・20～23 歳で親となった割合が増える傾向にあった。困窮度Ⅰ群で 10 代で親となった割合は 5.1%、20～23 歳で親になった割合は 30.8%であった。若くして母親となった人ほど、経済的な問題を抱えている可能性が考えられる。

困窮度別に見た、はじめて親となった年齢（問 33）※母親が回答者の場合に限定

<大阪市 24 区>



<大阪市東成区>

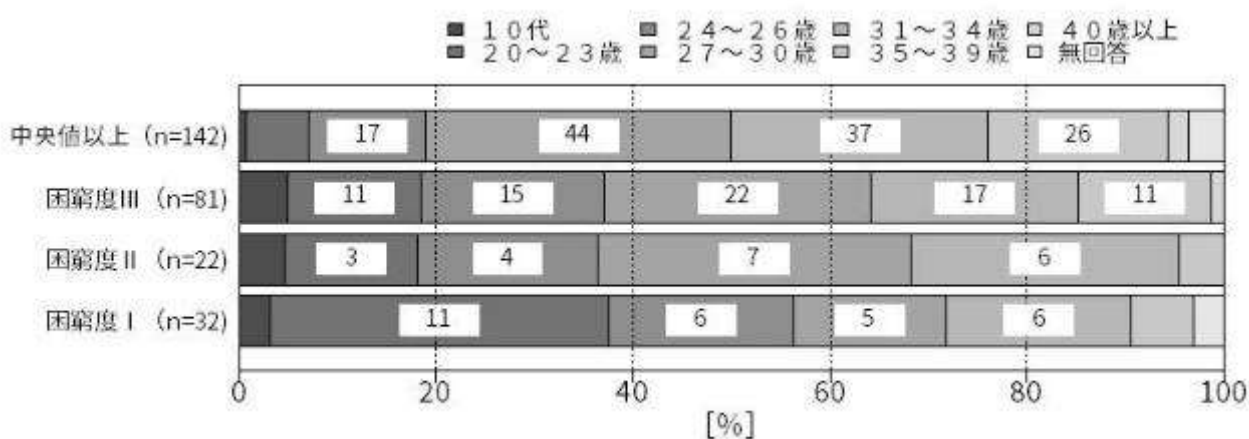
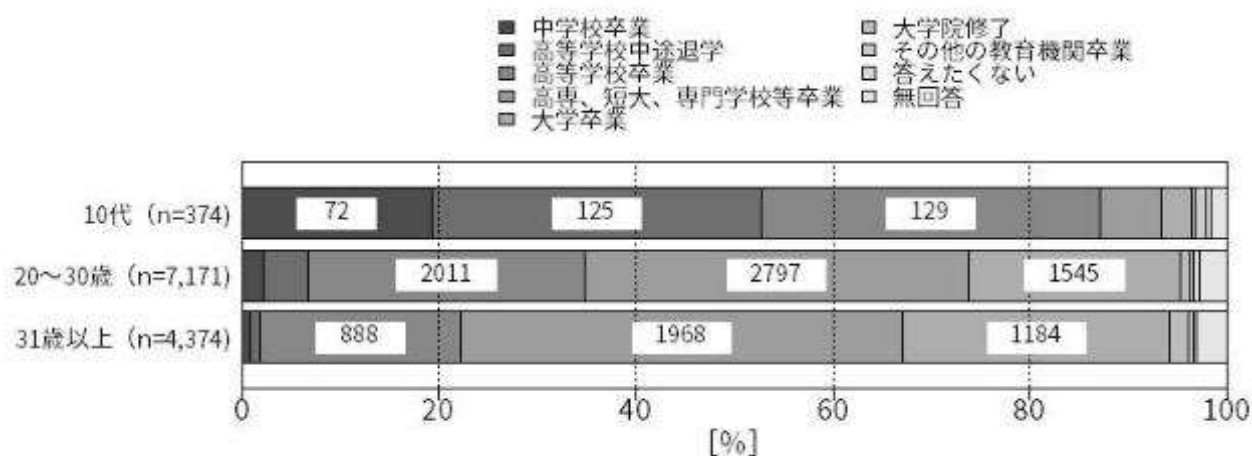


図 94. 困窮度別に見た、はじめて親となった年齢
※母親が回答者の場合に限定

中央値以上群と比べて、困窮度Ⅰ群・困窮度Ⅱ群・困窮度Ⅲ群では10代・20～23歳で親となった割合が増える傾向にあった。困窮度Ⅰ群で10代で親となった割合は3.1%、20～23歳で親になった割合は34.4%であった。若い世代で出産する人では、経済的に厳しいことが示唆される。

初めて親となった年齢別に見た、母親の最終学歴（問 33×問 8-母）※母親が回答者の場合に限定

<大阪市 24 区>



<大阪市東成区>

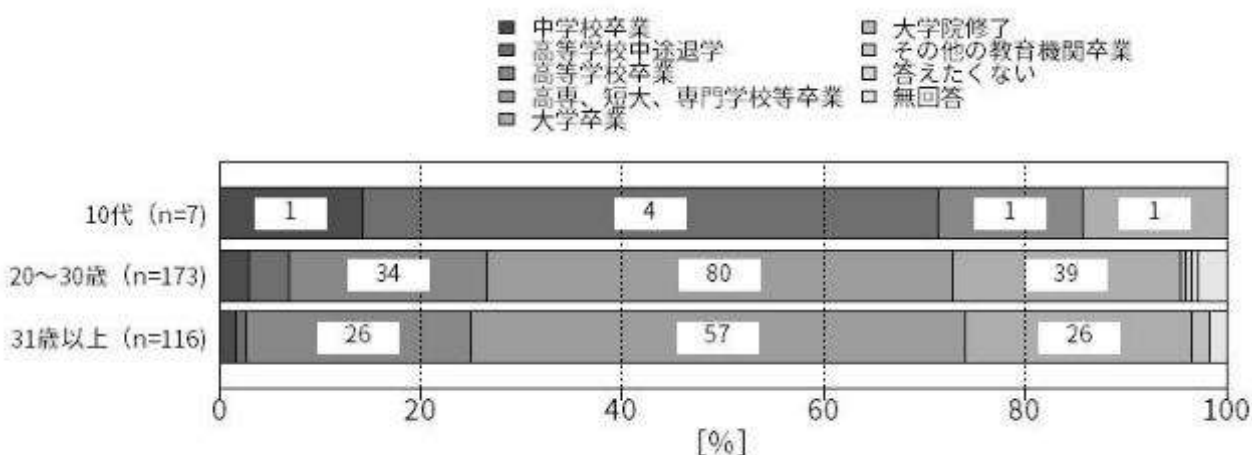


図 95. 初めて親となった年齢別に見た、母親の最終学歴（母親）

※母親が回答者の場合に限定

「初めて親となった年齢」を基準に、10代で初めて親となった10代群、平均出産年齢以下の年齢で初めて親となった平均以下群（20～30歳）、平均出産年齢以上の年齢で初めて親となった平均以上群（31歳以上）を設けた（平均出産年齢については下記 URL を参照）。

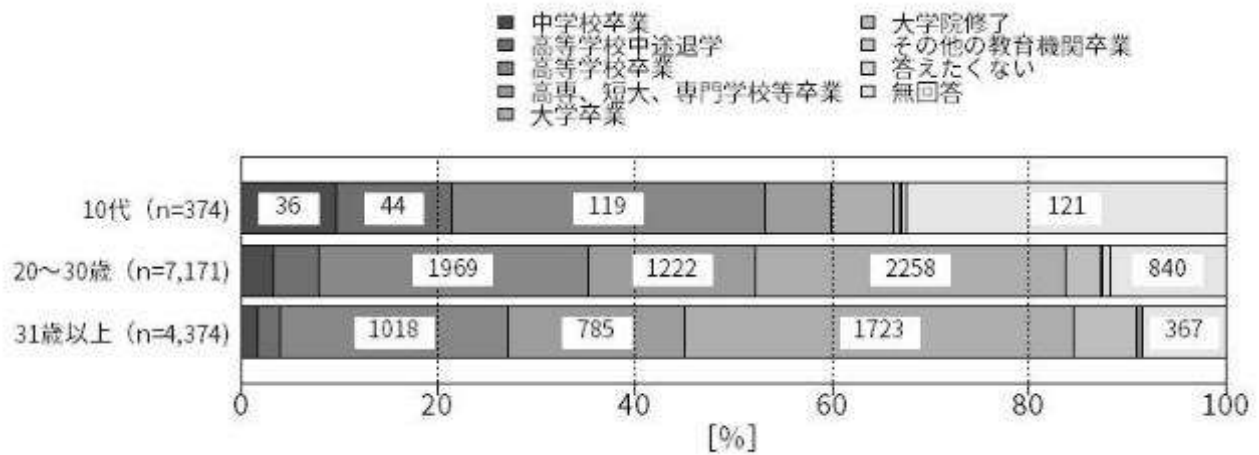
10代で出産する人は人数が少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできない。

平均出産年齢

http://www8.cao.go.jp/shoushi/shoushika/whitepaper/measures/w-2013/25webhonpen/html/b1_s1-1.html

初めて親となった年齢別に見た、父親の最終学歴（問 33×問 8-父）※母親が回答者の場合に限定

<大阪市 24 区>



<大阪市東成区>

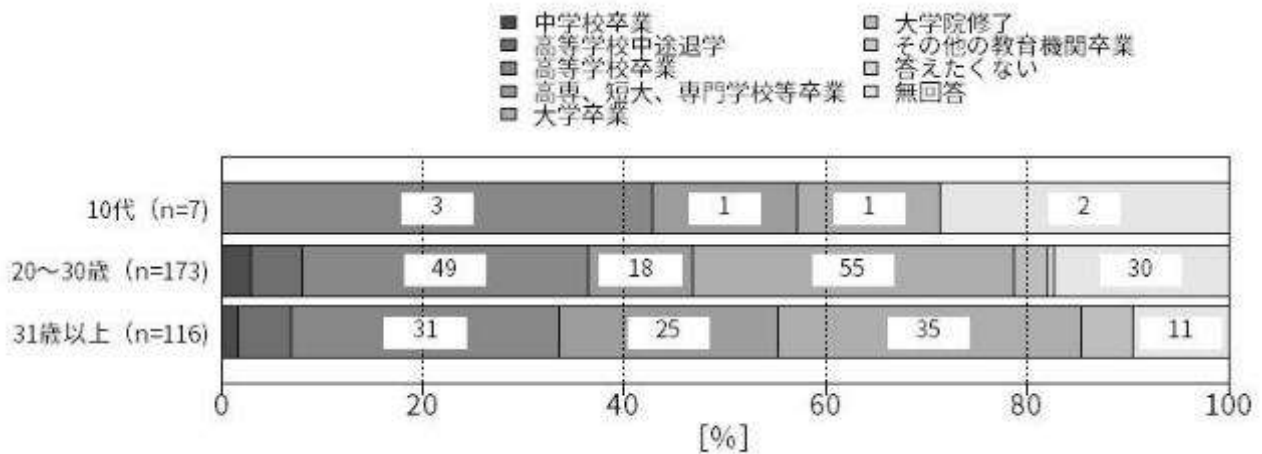
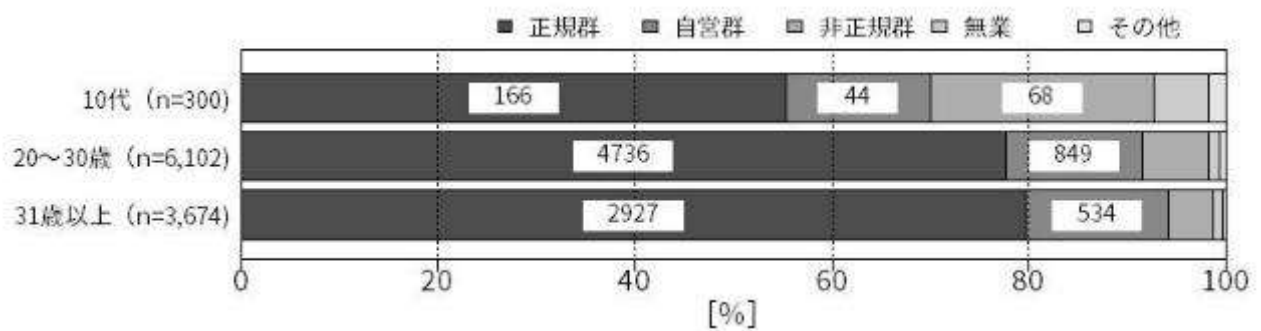


図 96. 初めて親となった年齢別に見た、父親の最終学歴（父親）
※母親が回答者の場合に限定

10 代で出産する人は人数が少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできない。

初めて親となった年齢別に見た、就労状況（問 33×問 8）※母親が回答者の場合に限定

<大阪市 24 区>



<大阪市東成区>

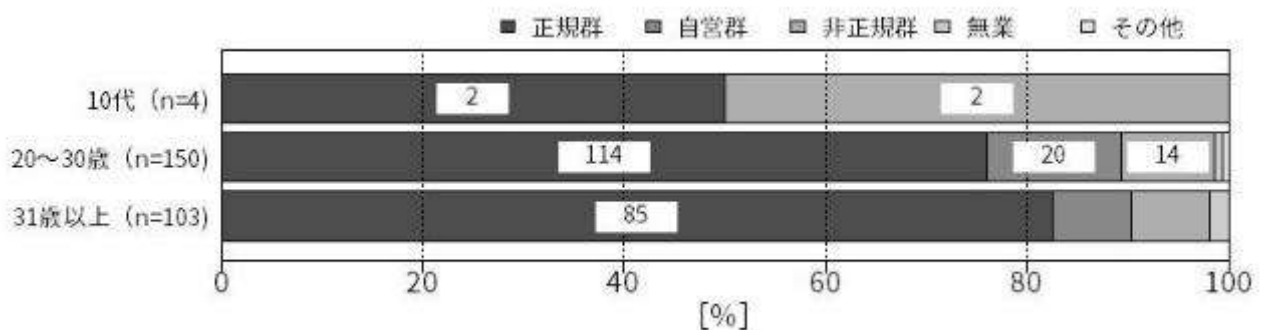


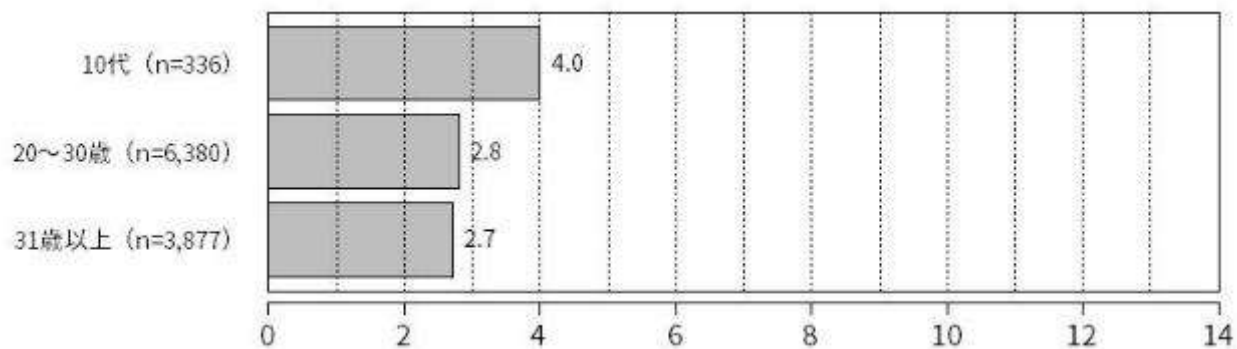
図 97. 初めて親となった年齢別に見た、就労状況
※母親が回答者の場合に限定

10 代で出産する人は人数が少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできない。

初めて親となった年齢別に見た、体や気持ちで気になること（問 33×問 37）

※母親が回答者の場合に限定

<大阪市 24 区>



<大阪市東成区>

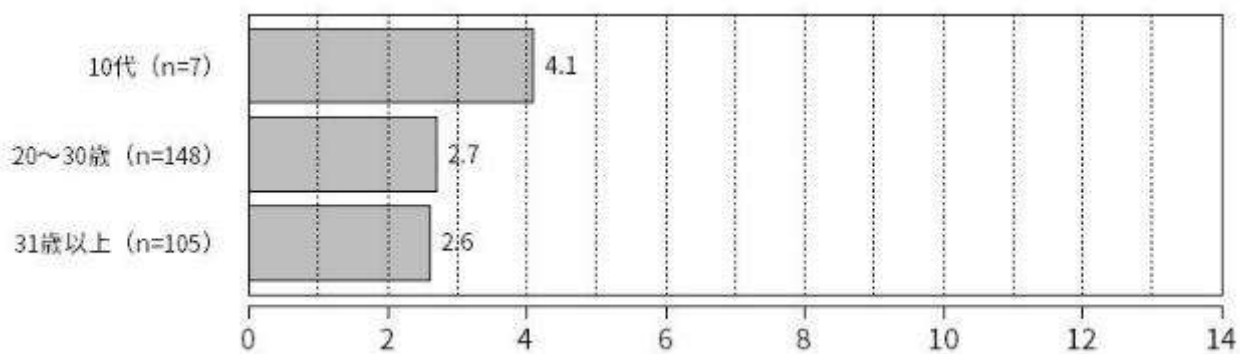


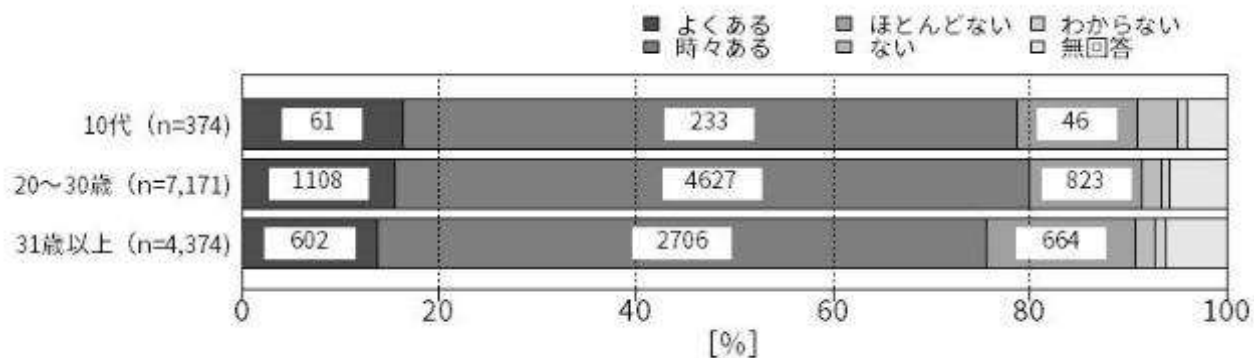
図 98. 初めて親となった年齢別に見た、体や気持ちで気になること

※母親が回答者の場合に限定

10代で出産する人は人数が少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできない。

初めて親となった年齢別に見た、不安やイライラなどを子どもに向ける頻度（問 33×問 38）
 ※母親が回答者の場合に限定

<大阪市 24 区>



<大阪市東成区>

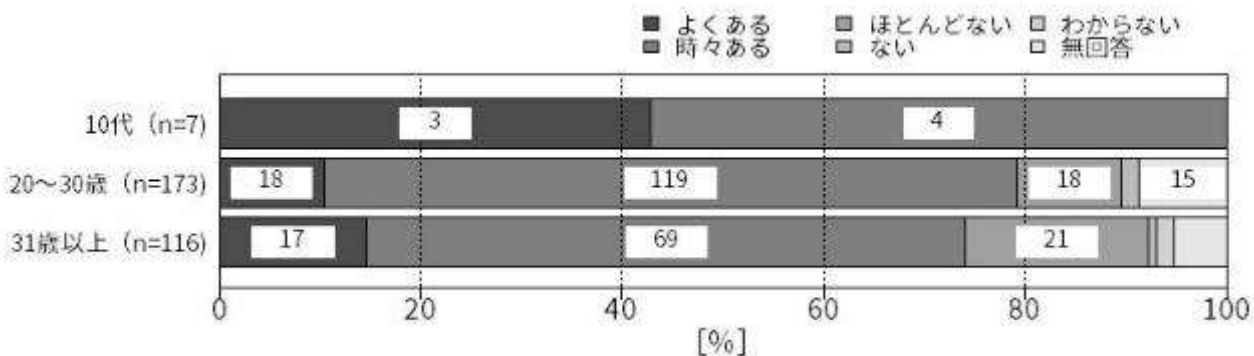
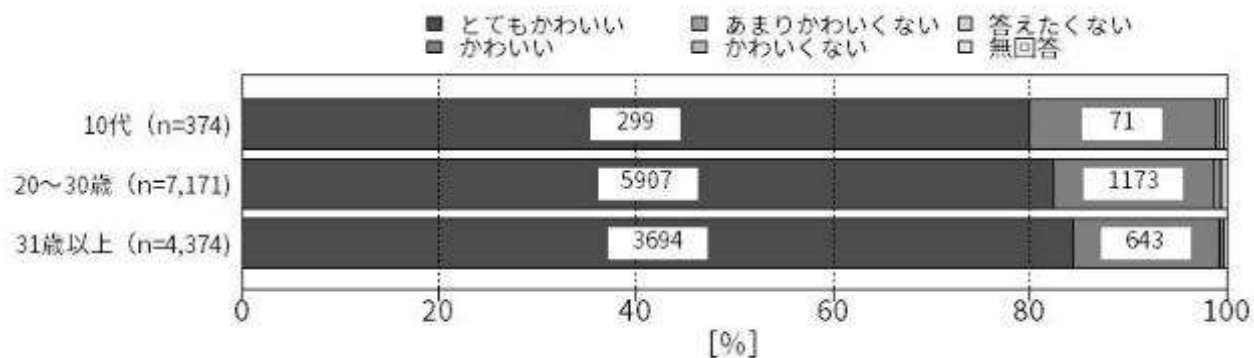


図 99. 初めて親となった年齢別に見た、不安やイライラなどを子どもに向ける
 ※母親が回答者の場合に限定

10 代で出産する人は人数が少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできない。

初めて親となった年齢別に見た、子との関係（１）子どもをかわいいと思うか（問 33×問 31-1）
※母親が回答者の場合に限定

<大阪市 24 区>



<大阪市東成区>

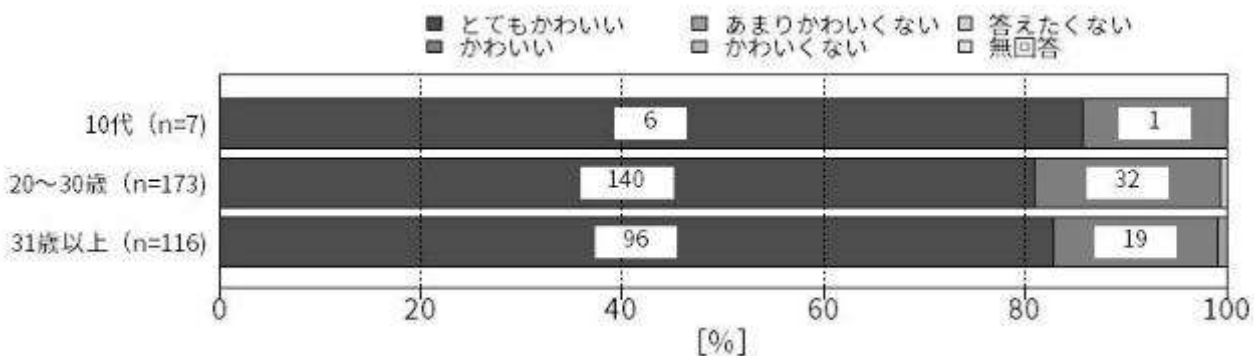


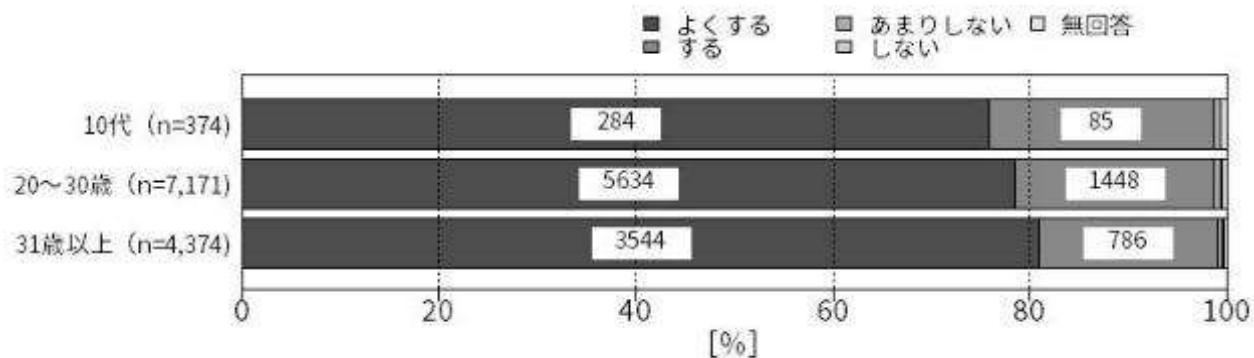
図 100. 初めて親となった年齢別に見た、子との関係（１）子どもをかわいいと思うか
※母親が回答者の場合に限定

10 代で出産する人は人数が少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできない。

初めて親となった年齢別に見た、子との関係（２）子どもと会話（問 33×問 31-2）

※母親が回答者の場合に限定

<大阪市 24 区>



<大阪市東成区>

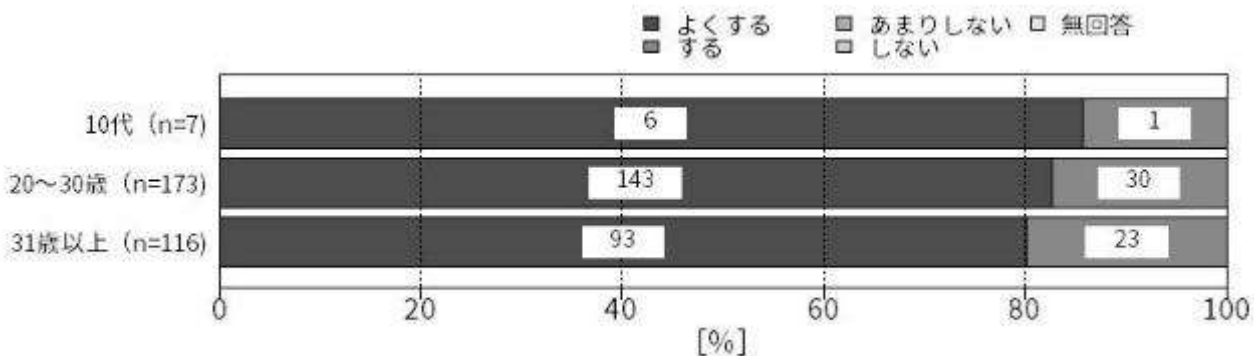


図 101. 初めて親となった年齢別に見た、子との関係（２）子どもと会話

※母親が回答者の場合に限定

10 代で出産する人は人数が少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできない。